

# 小学校 清掃指導 マニュアル





# Contents

## 目次

### 1. はじめに……………P3～P5

### 2. 清掃の対象……………P6～P11

### 3. 清掃資機材の扱い方……………P12～P49

清掃資機材の特徴と主な用途	3-1……………P12～P23
清掃資機材の使い方	3-2……………P24～P49
自在ぼうき	3-2-1……………P24～P27
シタぼうき	3-2-2……………P28～P29
ダストクロスモップ	3-2-3……………P30～P31
真空掃除機(ポット型)	3-2-4……………P32～P34
真空掃除機(アップライト型)	3-2-5……………P35～P37
モップ	3-2-6……………P38～P41
タオル	3-2-7……………P42～P45
デッキブラシ	3-2-8……………P46～P47
フロアスクイジー	3-2-9……………P48
ウインドスクイジー	3-2-10……………P49

### 4. 清掃の手順……………P50～P60

教室(塩ビ床及び木床)	4-1……………P50～P51
教室(カーペットフロア)	4-2……………P52
廊下	4-3……………P53
階段	4-4……………P54
玄関・昇降口	4-5……………P55
トイレ	4-6……………P56～P57
手洗い場	4-7……………P58
体育館	4-8……………P58
校庭	4-9……………P58
定期清掃	4-10……………P59～P60

### 5. 清掃のあとに……………P61

手洗い	5-1……………P61
うがい	5-2……………P61

ダウンロードのご案内

「清掃をマスターして学校をピカピカに！」  
生徒指導用スライド……………P62～P74

## ごあいさつ

建築物は、オフィスビル、ショッピングセンター、病院、そして学校等、様々な用途をもっていますが、どのような用途でも、それらの建築物空間はすべて、住みやすく、働きやすい「生きた空間」である必要があります。建築物空間を「生きた空間」にするためには、安全、健康、衛生などの必須要件を満たすだけでなく、その上に豊かさや便利さを加えた快適空間を築くことであります。

小学校においても、シックスクールやノロウイルスなど、社会問題化している事象も少なくなく、児童が健康障害を起こすことなく、健やかに学ぶための「生きた空間」の形成は、他の建築物用途にもまして非常に大切なことだと存じます。

さて、この建築物空間は、近年、多種多様な建材や設備によって急速にその機能が高められており、その機能の維持・保全是、安全や環境衛生面からも、あるいは耐久性の面からも、大変重要な課題になって参りました。生きた空間の創造とその維持が社会的要請であるとするならば、そのために遂行される弊会に参加する建築物維持管理事業者(ビルメンテナンス業)の維持管理業務は、極めて社会的責任の重い業務であろうと自認するところであります。

この『小学校清掃指導マニュアル』は、こうした社会的要請に応えるとともに、教育現場を預られている教職員はじめ関係者の方々のご判断によって、『清掃』を児童の情操教育の一環として取り入れていただければという願いをこめて、製作したものです。本マニュアルは、教職員の皆様の手引き書となるよう、小学校で必要な清掃内容をやさしく解説するとともに、児童を指導するためのツールも用意いたしました。多くの小学校で本マニュアルが活用されますことを願ってやみません。

本マニュアル製作にあられた小学校清掃マニュアル作成WGの方々、撮影にご協力いただいた荒川区立ひぐらし小学校の先生・児童の皆様、マニュアルにご協賛いただいた日本学校薬剤師会様等、関係者各位のご尽力に衷心より感謝申し上げる次第です。

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会  
会 長 一 戸 隆 男

小学校において児童や教職員が健康に過ごすため、「学校保健安全法」と「建築物における衛生的環境の確保に関する法律(建築物衛生法)」の2つの法律があります。

学校保健安全法では、「学校環境衛生基準」により、教室内の換気、照明、飲料水等の水質、清潔、ねずみ等の防除など環境衛生に係る項目について、維持することが望ましい基準を定めています。また、建築物衛生法では、8,000㎡以上の小学校が特定建築物となり、同法に定められている空気環境や水質、清掃等の規制も受けることになります。

## 学校保健安全法の学校環境衛生基準とは？

学校保健安全法第6条により、学校の設置者は、児童生徒等及び職員の健康を保護する上で維持されることが望ましい基準(学校環境衛生基準)に照らして、学校の適切な環境の維持に努めなければならないと定められています。この学校環境衛生基準は、文部科学省告示第60号にて公布され、平成21年4月1日に施行されました。

学校環境衛生基準は、第1～第6まで、定期的に検査する項目と毎授業日に検査する項目に分かれています。そして、検査項目ごとに基準、及び基準を達成するための検査方法と頻度が定められています。

- 第1 教室等の環境に係る学校環境衛生基準
- 第2 飲料水等の水質及び施設・設備に係る学校環境衛生基準…(今回は紹介を省略)
- 第3 学校の清潔、ネズミ、衛生害虫等及び教室等の備品の管理に係る学校環境衛生基準
- 第4 水泳プールに係る学校環境衛生基準…(今回は紹介を省略)
- 第5 日常における環境衛生に係る学校環境衛生基準
- 第6 雑 則

定期的な 検査項目	教室等の環境	換気、温度、相対湿度、浮遊粉じん、気流、一酸化炭素、二酸化窒素、揮発性有機化合物、ダニ又はダニアレルゲン、照度、まぶしさ、騒音レベル
	飲料水等	飲料水・雑用水の水質、飲料水等の施設・設備の衛生状態
	清潔、ネズミ、衛生害虫等、備品	大掃除、雨水の排水溝等、ネズミ・衛生害虫等、机・いすの高さ、黒板面の色彩
	水泳プール	水質、プール・附属施設等の衛生状態
毎授業日の 検査項目	教室内の環境	換気、温度、明るさとまぶしさ、騒音
	飲料水等	飲料水・雑用水の水質、飲料水等の施設・設備
	清潔、ネズミ、衛生害虫等	学校の清潔、ネズミ・衛生害虫等
	水泳プール	プール水等、附属施設・設備等

ここでは、検査項目の基準と検査方法・頻度の一部を紹介します。

### 第1 教室等の環境に係る学校環境衛生基準

#### 1. 教室等の環境に係る学校環境衛生基準(一部抜粋)

検査項目		基 準
換気及び 保温等	①換気	換気の基準として、二酸化炭素は、1500ppm以下であることが望ましい。
	②温度	10℃以上、30℃以下であることが望ましい。
	③相対湿度	30%以上、80%以下であることが望ましい。
	④浮遊粉じん	0.10mg/㎡以下であること。
	⑤気流	0.5m/秒以下であることが望ましい。
	⑥一酸化炭素	10ppm以下であること。
	⑦二酸化窒素	0.06ppm以下であることが望ましい。
	⑧揮発性有機化合物	
	ホルムアルデヒド	100μg/㎡以下であること。
	トルエン	260μg/㎡以下であること。
キシレン	870μg/㎡以下であること。	
パラジクロロベンゼン	240μg/㎡以下であること。	
エチルベンゼン	3800μg/㎡以下であること。	
スチレン	220μg/㎡以下であること。	
⑨ダニ又はダニアレルゲン	100匹/㎡以下又はこれと同等のアレルゲン量以下であること。	

### 第3 学校の清潔、ネズミ、衛生害虫等及び教室等の備品の管理に係る学校環境衛生基準

#### 1. 学校の清潔、ネズミ、衛生害虫等に係る学校環境衛生基準（一部抜粋）

検査項目		基準
学校の清潔	①大掃除の実施	大掃除は、定期的に行われていること。
	②雨水の排水溝等	屋上等の雨水排水溝に、泥や砂等が堆積していないこと。また、雨水配水管の末端は、砂や泥等により管径が縮小していないこと。
	③排水の施設・設備	汚水槽、雑排水槽等の施設・設備は、故障等がなく適切に機能していること。
ネズミ、衛生害虫等	④ネズミ、衛生害虫等	校舎、校地内にネズミ、衛生害虫等の生息が認められないこと。

#### 2. 上記の学校環境衛生基準の達成状況を調査するため、①は毎学年3回、②～④は毎学年1回定期的に検査する。（一部抜粋）

検査項目		基準
学校の清潔	①大掃除の実施	清掃方法及び結果を記録等により調べる。
	②雨水の排水溝等	雨水の排水溝等からの排水状況を調べる。
	③排水の施設・設備	汚水槽、雑排水槽等の施設・設備からの排水状況を調べる。
ネズミ、衛生害虫等	④ネズミ、衛生害虫等	ネズミ、衛生害虫等の生態に応じて、その生息、活動の有無及びその程度等を調べる。

### 第5 日常における環境衛生に係る学校環境衛生基準

#### 1. 毎授業日に点検を行う。（一部抜粋）

検査項目		基準
教室等の環境	①換気	・外部から教室に入ったとき、不快な刺激や臭気がないこと。 ・換気が適切に行われていること。
	②温度	・10℃以上、30℃以下であることが望ましい。
	③明るさとまぶしさ	・黒板面や机上等の文字、図形等がよく見える明るさがあること。 ・黒板面、机上面及びその周辺に見え方を邪魔するまぶしさがなく、黒板面に光るような箇所がないこと。
	④騒音	学習指導のための教師の声等が聞き取りにくいことがないこと。
学校の清潔及びネズミ、衛生害虫等	⑧学校の清潔	・教室、廊下等の施設及び机、いす、黒板等教室の備品等は、清潔であり、破損がないこと。 ・運動場、砂場等は、清潔であり、ごみや動物の排泄物等がないこと。 ・便所の施設・設備は、清潔であり、破損や故障がないこと。 ・排水溝及びその周辺は、泥や砂が堆積しておらず、悪臭がないこと。 ・飼育動物の施設・設備は、清潔であり、破損がないこと。 ・ごみ集積場及びごみ容器等並びにその周辺は、清潔であること。
	⑨ネズミ、衛生害虫等	・校舎、校地内にネズミ、衛生害虫等の生息が見られないこと。

## 第6 雑則

1) 学校においては、次のような場合、必要があるときは、臨時に必要な検査を行うものとする。

- (1) 感染症又は食中毒の発生のおそれがあり、また、発生したとき。
- (2) 風水害等により環境が不潔になり又は汚染され、感染症の発生のおそれがあるとき。
- (3) 新築、改築、改修等及び机、いす、コンピュータ等新たな学校用備品の搬入等により揮発性有機化合物の発生のおそれがあるとき。
- (4) その他必要なとき。

2) 臨時に行う検査は、定期に行う検査に準じた方法で行うものとする。

3) 定期及び臨時に行う検査の結果に関する記録は、検査の日から5年間保存するものとする。また、毎授業日に行う点検の結果は記録するよう努めるとともに、その記録を点検日から3年間保存するよう努めるものとする。

4) 検査に必要な施設・設備等の図面等の書類は、必要に応じて閲覧できるように保存するものとする。

最近では、シックスクール、新型インフルエンザウイルス、ノロウイルスなど社会問題化しているものも多くあり、小学校内の環境衛生の確保は、児童が健康な学校生活を営み、健やかに学ぶためにも非常に大切なことです。

ところで、最近の小学校の環境整備については、教職員や専門の業者が行うなど、児童が自ら行う機会が少なくなりました。しかしながら、自らが苦勞せずと与えられた環境というものは、『もの』を大切にするという意識が薄らいできます。その結果、みんなで共有する場所の床や壁、机などに落書きをしたり、壊したりするというような行為が起こります。


そこで、新たな教育として提案したいのが『清掃』です。清掃は、小学校内外を問わずあらゆる場所の環境整備の基本であり、誰もがどこでも取り組むことができます。児童が小学校の清掃を行ったことにより、汚いものをきれいにするという達成感を味わうだけでなく、まわりを汚さなくなり、また、ものを大切にしようとする心が芽生えたという事例も聞きます。

つまり清掃は、まわりの環境をきれいにするばかりでなく、児童の情操教育にもなりえるなど様々な効果が期待できるのです。





 **ポイント** | 学校内での汚れとゴミの種類を把握し適切な方法で対応します。

### 【大きなゴミ】

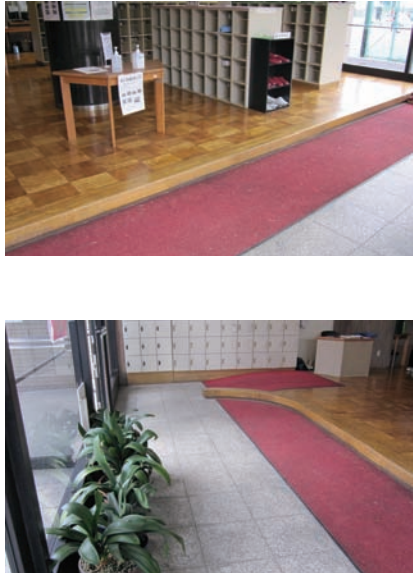
		学校内シーン
特 徴	不要になった紙くすやビニール袋など、道具を使わずに処理することができ、手で簡単につかめるもので、ちり取りではすぐにあふれてしまう大きさのものです。ダンボール箱や発砲スチロールも含まれます。	
対処の仕方	手で拾う、集めるという行為で処理します。	
注 意 事 項	燃えるゴミとプラスチックゴミなどの分別が大切です。缶やビンも大きなゴミとして扱い、分別を徹底します。おもに素手で回収するため、紙で指を切ることがあるので十分に注意します。 ※分別の種類は各自自治体に従う。	

### 【ホコリ】


		学校内シーン
特 徴	床では、綿ボコリと呼ばれる繊維紛が対象になりますが、棚や備品に付着するホコリは、微細な粉のようです。綿ボコリのような目に見えるホコリから、肉眼では見えにくい花粉やカビの胞子もあり、ダニの糞や死骸が乾燥して粉体になったものなどもあります。これらの目に見えないホコリは、アレルギーの原因物質になることが多く、健康に影響を及ぼします。	 
対処の仕方	清掃により舞い上がったホコリは、窓やサッシ扉を開放して、外に流れ出るようにします。コンピューター室などの機密化された部屋では、自在ぼうきまたは掃除機を使用して、ホコリを舞い上げないような作業方法で実施します。細かなホコリはモップなどで拭き取ります。拭き取る作業には、から拭き、水拭き、静電気を利用した道具による拭き、油剤を使用したモップでの拭きなどがあり、ホコリの量や付着している建材の性質で作業方法を選択します。	
注 意 事 項	ホコリは、清掃により舞い上がらないようにすることが重要で、使用する道具と正しい作業方法で実施することが大切です。	



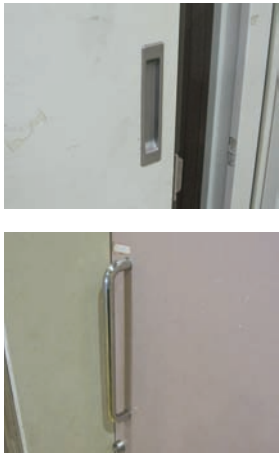
## 【土 砂】

<p>特 徴</p>	<p>風により建築物内に運ばれて、棚や備品に砂ボコリが付着していることが見られますが、9割は、靴の裏に付着して建築物内に持ち込まれるといわれています。 2足制の学校は、外履きで校舎に入らないため、細かい土砂は見えにくく放置されがちです。そのため、その上を人が歩くことで、硬い土砂により床材が磨耗してしまいます。</p>	<p>学校内シーン</p> 
<p>対処の仕方</p>	<p>外からの持ち込みを少なくするために、昇降口のマットを清掃します。プラスチック床はダストクロスなどを、カーペットは掃除機を使用し、土砂を回収します。</p>	
<p>注 意 事 項</p>	<p>土砂が床に長い時間堆積していると、研磨作用により建材が傷むので注意します。また、階段に堆積していると、土砂によるスリップが生じて大変危険な状態になるため、適切な回収が重要です。</p>	


## 【食べ物のカス】

<p>特 徴</p>	<p>パンなど食べ物のカスは、机の中や部屋の隅々に放置されると、ダニ・ゴキブリやネズミの温床となり、大変不衛生な状態になることがあります。</p>	<p>学校内シーン</p> 
<p>対処の仕方</p>	<p>目に見えるカスは、掃き清掃により除去します。残った目に見えにくい細かなカスは、ダニなどのえさになるため、水拭きをすることで完全に除去することが重要です。</p>	
<p>注 意 事 項</p>	<p>栄養分があるため、害虫等の繁殖に繋がるため、衛生管理の面を特に意識した清掃が必要です。</p>	


## 【手垢汚れ】

<p>特 徴</p>	<p>手垢汚れは、人の手が触れて発生します。また、多くの人 が触れるため、汚れがどんどん蓄積されて黒ずみ、美観 が低下します。インフルエンザなどの感染源になる所 でもあるので、衛生管理を特に意識した清掃が必要です。</p>	<p>学校内シーン</p> 
<p>対処の仕方</p>	<p>日常の清掃だけではなく、洗剤などを使用した定期的な 清掃が必要です。早めに汚れを除去することは、予防清 掃の観点からも大切なことです。洗剤を使用した清掃 だけでなく、超極細繊維クロスなどを使用することで作 業を軽減できます。</p>	
<p>注 意 事 項</p>	<p>コーティングされていないアルミに、アルカリ性の液が付 着すると腐食が起きるため、アルミに付着した手垢汚 れには、アルカリ性洗剤を使用しないようにします。</p>	


## 【油よごれ】

<p>特 徴</p>	<p>給食室や家庭科教室の油汚れは、油によるべとつきで汚 れが再付着しやすくなります。また、油が介在すること で滑りやすくなり、転倒事故を誘発するので注意が必要です。</p>	<p>学校内シーン</p> 
<p>対処の仕方</p>	<p>洗剤を使用して油汚れを除去し、使用した洗剤を残さな いようにするため、水拭きで仕上げます。</p>	
<p>注 意 事 項</p>	<p>洗剤は、説明書に従い、正しい種類や倍率で使います。 必ず手袋を使用し、目を保護するためにゴーグルなどの 使用も考慮することが必要です</p>	


## 【便器の黄ばみ】

<p>特 徴</p>	<p>日常清掃が不十分だと、残った尿が徐々に尿石として付 着し、黄ばみが出てきます。尿は体から出される不要物 質ですが、栄養素があるため、細菌や雑菌が繁殖し、臭い の原因になります。毎日、便器全体を清掃することで、尿 石の付着を防ぐことができます。</p>	<p>学校内シーン</p> 
<p>対処の仕方</p>	<p>硬い研磨剤が付着していないパッドや亀の子タワシなど を使用して、隅々を丁寧に清掃することで、尿石の発生 を防ぎます。</p>	
<p>注 意 事 項</p>	<p>尿石ができた場合は、トイレ専用酸性洗剤などを使用し ますが、衛生金具やセンサーなどの金属に付けないよう 注意します。強酸なため金属が腐食します。</p>	


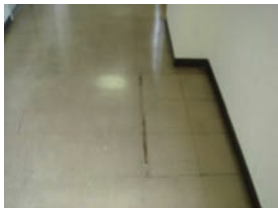
## 【水 垢】

<p>特 徴</p>	<p>洗面台や便器は、常に水が流れて乾燥することを繰り返すため、水に含まれるミネラル分と汚れが混ざり合って、硬い汚れとして付着します。軽度のものとしては、洗面台や流し台の蛇口まわりに白い水垢が付着します。重度のものとしては、小便器の水が流れる筋として、または大便器の封水面に茶色か黒色の水垢が付着します。</p>	<p>学校内シーン</p> 
<p>対処の仕方</p>	<p>水垢はミネラル分が固着したもので、いわゆる金属であるため、耐水ペーパーや研磨剤などを使用して、除去します。傷をつけないように考慮して実施します。</p>	
<p>注意事項</p>	<p>現在市販されている、除去に使用する専用洗剤の大部分は、陶器の釉薬も溶かしてしまい、汚れが付着しやすくなります。また、付着した汚れは除去しにくくなるため、使用は避けるようにします。</p>	


## 【カビ】

<p>特 徴</p>	<p>カビは健康に大きな問題を発生させるため、流し台やトイレなど水まわりの場所では、汚れや湿気の管理を適切に行います。カビは汚れなどの栄養分や湿度の影響によって発生するため、常に汚れを除去し乾燥している状態を維持するようにします。</p>	<p>学校内シーン</p> 
<p>対処の仕方</p>	<p>カビは、こすって除去しようとするとう胞子を拡散させるので、ティッシュペーパーなどを当ててから、カビ取り剤を使用して除去します。</p>	
<p>注意事項</p>	<p>カビ取り剤の多くは、次亜塩素酸ナトリウムを使用しているものが多く、酸性洗剤と混合すると塩素ガス（体に危険）が発生するので、混ぜることがないように十分に注意します。</p>	

## 【サビ】

<p>特 徴</p>	<p>金属は、光があることできれいだと判断されます。サビが発生すると艶がなくなって価値が落ちるだけでなく、金属が腐食し、傷みます。金属製のロッカーやゴミ箱の底が濡れてしまうと、錆が発生して床に付着し、建材の中まで浸透してしまうことがあるため、清掃時の洗剤や水の使用に注意します。</p>	<p style="text-align: center;">学校内シーン</p>  
<p>対処の仕方</p>	<p>建材の表面に付着しているサビは、建材を傷めないよう研磨などにより除去します。酸性系の洗剤で溶かして除去することもあります。付着している建材が使用する洗剤に対して耐性があるかどうか十分に確認してから実施します。</p>	
<p>注意事項</p>	<p>銅像などのサビは除去することなく、風合いを重視します。研磨剤や洗剤に対する耐久性を十分に考慮して対処します。</p>	

## 【落書き】

<p>特 徴</p>	<p>机やトイレの扉に、鉛筆やマジック(フェルトペン)により書かれたものがあります。落書きには、鉛筆・マジックなどの油性、クレヨンやペンキなど厚みのあるものなど、いろいろなもので書かれています</p>	<p style="text-align: center;">学校内シーン</p> 
<p>対処の仕方</p>	<p>鉛筆の落書きは、消しゴムで除去することが最善策です。他の落書きに関しては、使用する洗剤や溶剤により建材に傷や塗料の剥がれなどが生じることがあるため、パッドの種類に注意します。</p>	
<p>注意事項</p>	<p>個人の中傷になる落書きが除去できないときには、塗料などで染色してしまうことを考慮する判断が必要です。</p>	

## 【嘔吐物】

<p>特 徴</p>	<p>体調不良などにより、胃の内容物が吐き出されたものです。食べ物のカスだけでなく、ウイルスなどが介在していることも考えられるため、適切な方法で処理することが重要です。</p>
<p>対処の仕方</p>	<p>ペーパータオルなどで嘔吐物全体を覆い、嘔吐物を飛散させない方法で処理します。タイルカーペット上の嘔吐物は、汚れた部分のカーペットを剥がして、駐車場などで洗浄します。</p>
<p>注意事項</p>	<p>食あたりだけでなく、ノロウイルスによる感染が疑われた時は、次亜塩素酸ナトリウムで消毒をします。タイルカーペット上の嘔吐物は、汚れた部分のカーペットを剥がして室外で洗浄して洗い流します。この時、感染予防策としてマスク・手袋・エプロン・ゴーグルなどの使用は重要です。詳しい処理方法は、次ページをご確認ください。</p>

## ノロウイルスが疑われる吐瀉物の基本的な処理方法

※参考(社)全国ビルメンテナンス協会発行「吐瀉物処理マニュアル」

### 1)準備するもの(処理用具)

- ・使い捨て手袋
- ・使い捨てガウン
- ・使い捨てマスク
- ・使い捨て靴カバー
- ・汚物回収袋(ゴミ袋)
- ・ペーパータオル
- ・ヘラ(使い捨てが最適)
- ・ちり取り(使い捨てが最適)
- ・消毒薬(次亜塩素酸ナトリウムなど)



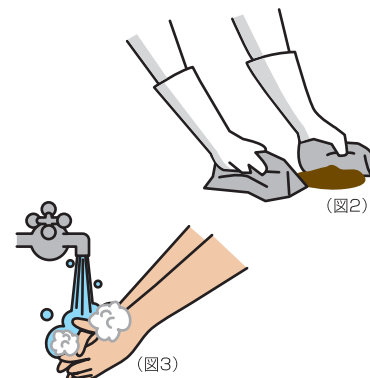
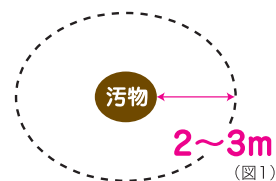
これらは、すぐに使えるようひとまとめにしておくといでしょう。

### 2)作業前の準備

- ①吐瀉物の周辺に、関係者以外の人近づかないようにします。
- ②処理用具を揃えます。
- ③使い捨ての手袋・ガウン・マスク・靴カバーを着用します。

### 3)処理事業

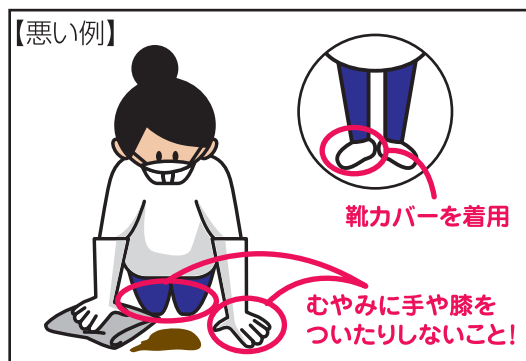
- ①吐瀉物が飛散していることを想定し、汚物の周囲2~3m(図1)程度をペーパータオルで外側から内側に向けて拭きます。(図2)
- ②吐瀉物を踏むことのないよう、拭いたあとを進みます。
- ③吐瀉物の上にペーパータオルをかぶせ、その上からペーパータオルにたっぷりしみ込む程度の消毒薬をかけます。
- ④ヘラとちり取りを用いてペーパータオルごと吐瀉物(固形物)を取り除きます。  
④で取り除けない吐瀉物は、ペーパータオルで拭き取ります。
- ⑤吐瀉物が付着していた床を消毒薬で浸し1分待ちます。
- ⑥乾いたペーパータオルで消毒薬を拭き取ります。
- ⑦使い捨て手袋・ガウン・マスク・靴カバーをはずし、汚物回収袋に入れます。  
※ヘラ・ちり取りなど使用した使い捨てのものはすべて汚物回収袋に入れること。
- ⑧汚物回収袋に消毒薬を注ぎ、袋の口をしっかりと結びます。
- ⑨石けんと流水で手を洗い、うがいをします。(図3)



### 3)注意事項

- ・飛散した汚物を踏まないよう、外側から内側へ処理すること。
- ・処理の際、膝をつかないようにすること。
- ・換気を行うこと。
- ・可能な限り使い捨ての用具を使用すること。
- ・作業終了後には手洗い・うがいをする。




※床材によっては、消毒薬の種類や消毒方法により変色・変質する場合がありますので、注意しましょう。



 **ポイント** 汚れとゴミの種類に応じた清掃資機材を選びましょう。

※商品名は推奨するものではなく、あくまで見本です。

名 称	特徴と主な用途	保管方法
<p><b>自在ぼうき</b></p>  <p>30cm 45cm</p>	<p>頭部に4~5cm幅の毛を植えたブラシで、柄と接合部が自由に動くようになっている。ビルの屋内清掃で多様されている。毛先幅30cmのものは主として階段用に、45cmのものはフロア用に使用されている。新しいものは壁面のホコリ扱いにも利用されている。小学生が扱いやすい短い柄の児童用もある。</p>	<p>静電気を帯びやすく、綿ボコリなどがつきやすいから、毛がきでこまめに掃除することが必要。保管する場合は、吊り下げておくか毛先を上にもかけておく。 定期的に流水で洗い、乾燥させてくせを直す。</p>
<p><b>毛がき</b></p> 	<p>自在ぼうきなどの毛先からみついた綿ボコリや糸くずを取り除くのに使われる。毛がきの代用としてワイヤーブラシや荒目のくしを用いる場合もある。</p>	<p>使用後は、ホコリなどを取り除き、吊り下げるか、目につきやすい所に保管する。</p>
<p><b>座敷ぼうき</b></p>  <p>短柄 81cm 長柄 135cm</p>	<p>座敷の畳を掃くのに適しているほうきで、ほうきもろこしの穂を用いた長柄のものが普通。 柄の短い手ぼうきもある。穂先はしなやかな弾力性があるが、砂などの細かなホコリを掃くのにには適していない。使い方が悪いと穂の部分がめくれるくせを作ってしまう。</p>	<p>保管する場合は吊り下げておくか毛先を上にしておく。穂が反り返ったときは、温水に浸してくせを直すといよい。</p>
<p><b>シダぼうき</b></p>  <p>短柄 82.5cm 長柄 125cm</p>	<p>改良ぼうきまたは万年ぼうきともいい、穂にシダを用いたほうきで、耐水性があり、腰が強いので、主に建築物の外周用として使用される。細かいホコリが除去しにくいうえ、ホコリを跳ね上げて浮遊粉塵を発生させるので、室内で使用されることは少ない。最近は、ビニール製の物もある。シダはめくれやすいから使い方に十分な注意が必要。短柄のものと長柄のものがある。</p>	<p>保管は、吊り下げておくか毛先を上にしておく。穂がめくれたときは水に浸し、くせを直して乾かすと元にもどる。</p>

名 称	特徴と主な用途	保管方法
<p data-bbox="296 443 437 483">竹ぼうき</p> 	<p data-bbox="639 443 1029 551">穂には、孟宗竹の枝を使い、竹を柄に用いたもので、落葉などを掃くのに適している。</p>	<p data-bbox="1070 443 1374 477">保管は、穂先を上にしておく。</p>
<p data-bbox="316 842 416 882">くま手</p> 	<p data-bbox="639 842 1038 875">落葉などをかき集めるのに適している。</p>	<p data-bbox="1070 842 1401 875">保管は、手の方を上にしておく。</p>
<p data-bbox="344 1243 387 1283">箕</p> 	<p data-bbox="639 1243 1029 1391">竹ぼうきやくま手で集めた落葉などを入れて、処理するのに適している。最近は、プラスチック性のものが多い。</p>	<p data-bbox="1070 1243 1453 1276">使用後は、よく洗い、水分を取り除く。</p>
<p data-bbox="161 1644 564 1684">乾式モップ(プレーンモップ)</p> 	<p data-bbox="639 1644 1029 1939">乾いたモップで、床などのホコリを拭き取るのに用いる。楕円形の頭部が平らなのでプレーンモップとも呼ばれ、体育館など広い場所での除塵ができる。濡れた床、湿っている床の清掃には適さない。床面に強く押し付けると、油剤が付着する結果になり、そこにホコリが集まり、黒ずみが発生する。</p>	<p data-bbox="1070 1644 1362 1677">付着したホコリを除去する。</p>


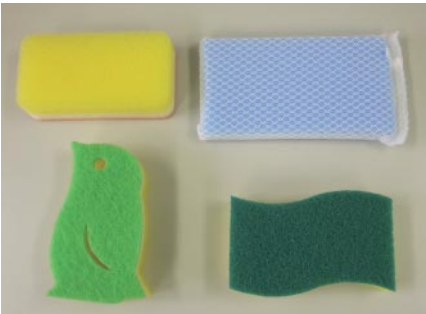


名 称	特徴と主な用途	保管方法
<p><b>乾式モップ(ダストクロスモップ)</b></p> 	<p>不織布などを用いており、繊維間にホコリを付着させて除去する仕組みである。濡れた床や土砂などが多い床の清掃には適さない。最近は使い捨てではなく、コスト・ゴミ削減などから布製で洗って利用できるものもある。</p>	<p>スポンジ面を上にして保管する。</p>
<p><b>静電気ホコリ取り</b></p> 	<p>房の部分はナイロンなどの化繊でできており、揺さぶることによって生じる静電気の力を利用し、ホコリを吸着する。短柄のものと長柄のものがある。</p>	<p>使用後は、付着したホコリを取り除き、房の方を上にするか、吊して保管する。汚れてきたら、洗浄液に浸し、洗い、すすいでよく乾燥させる。</p>
<p><b>カーペットスーター</b></p> 	<p>カーペットの表面に付着したゴミやホコリを掃き取る器具。前後に動かすと、ローラー状のブラシが回転して、ゴミを容器内に掃き込む構造になっている。 カーペットの織目に沈んだ土ホコリや土砂などは、真空掃除機を用いなければ除去できない。</p>	<p>使用後は、ゴミ容器内のゴミを捨てて、ブラシに絡みついた糸くずなどを取り除く。</p>
<p><b>真空掃除機(ポット型)</b></p> 	<p>一般的なカーペットの吸塵をはじめ各種吸塵作業に使用される。アタッチメントを取り替えて広範囲に使用できる。</p>  <ul style="list-style-type: none"> <li>① ホース</li> <li>② ウォンド</li> <li>③ 吸込口</li> <li>④ 隙間ノズル</li> <li>⑤ ゴミフィルター</li> <li>⑥ コード</li> </ul>	<p>(p34参照)</p>



名 称	特徴と主な用途	保管方法
<p><b>真空掃除機(アップライト型)</b></p> 	<p>ブラシが回転してホコリをかき出すように吸引する構造であるため、カーペットの繊維の中に入り込んだゴミやホコリの除去に適している。狭い箇所や隅の吸塵に便利なスキマノズルを標準装備している。</p>	<p>(p37参照)</p>
<p><b>文化ちり取り</b></p> 	<p>自在ぼうきまたはシダぼうきなどと併用し、ゴミの回収に用いるもの。取っ手を持ち上げると自動的に蓋が閉じる。</p>	<p>吊すか、立てて保管する。収集したゴミを空にして、流水で洗い、水分を取り除く。</p>
<p><b>片手ちり取り</b></p> 	<p>軽量でコンパクトなハンディタイプのちり取り。</p>	<p>使用後は、流水で洗い、水分を取り除く。吊り下げて保管する。</p>
<p><b>三手ちり取り</b></p> 	<p>主に建築物の外まわりのゴミ収集用として利用する。</p>	<p>使用後は、流水で洗い、水分を取り除く。</p>

名 称	特徴と主な用途	保管方法
<p data-bbox="293 443 437 488">汚水取り</p> 	<p data-bbox="639 450 1029 629">床を洗浄する時の汚水回収用として、フロアスクイジーと併用する。汚水回収時は、床面に取水口を付け、フロアスクイジーのゴム(1/3程度)が中心に入るように使用する。</p>	<p data-bbox="1070 450 1460 555">使用後は、流水で洗い、水分を取り除き、平らな場所に置くか、入口のゴムが大切なので、上にして置く。</p>
<p data-bbox="268 846 469 891">デッキブラシ</p> 	<p data-bbox="639 853 1029 1032">厨房や便所の床面など、ホースで水を流しながら洗浄する場所で使う。特に磁器質タイルの目地の汚れ落としに効果がある。小学生が扱いやすい短い柄の児童用もある。</p>	<p data-bbox="1070 853 1460 958">使用後は、流水で洗い、水分を切って、ブラシ部分を上に吊して保管する。(p47参照)</p>
<p data-bbox="229 1249 501 1294">フロアスクイジー</p> 	<p data-bbox="639 1256 1029 1435">床の洗浄後、汚水回収時に用いる。汚水回収時のゴム刃の角度に注意する。前方から手前の方に引く動作が正しい使用方法である。小学生が扱いやすい短い柄の児童用もある。</p>	<p data-bbox="1070 1256 1460 1361">使用後は、流水で洗い、水分を取り除き、ゴム刃を上にするか、吊して保管する。(p48参照)</p>
<p data-bbox="272 1653 464 1697">作業標示板</p> 	<p data-bbox="639 1659 1029 1727">作業中であることを知らせ、転倒事故が起こらないよう、注意を促す。</p>	<p data-bbox="1070 1659 1380 1682">吊すか、立てかけて保管する。</p>

名 称	特徴と主な用途	保管方法
<p><b>ワックス(床維持剤)</b></p> 	<p>学校環境の基本となる、教室・廊下などでの安全と美観を維持する。耐久性に優れ、床をキズや汚れから保護する。体育館用は激しい運動の下でも優れた耐スリップ性と耐久性、光沢維持性を発揮する。</p> <p>“シックスクール嫌疑物質”を原料として使用していない安心設計である。</p>	<p>使用後は、キャップ及びコックをしっかり閉めて保管する。一度容器から出したワックスは、再び元の容器に戻さない。凍結する恐れのある場所や40℃以上の高温になるところには保管しない。</p>
<p><b>上 シャンピング 下 ウインドスクイジー</b></p> 	<p>&lt;上の写真&gt;ガラス面を濡らすための道具。布状の表面に水や洗剤を含ませる。</p> <p>&lt;下の写真&gt;窓ガラスの清掃に使用する。ガラス面をタオルまたはシャンピングで適当に濡らし、水を一気に引く。ゴム幅が通常30cm～50cmまでの数種類があり、作業箇所に応じて使用されている。伸縮棒を併用すれば高所のガラスクリーニングが可能。ゴム刃が劣化したら、ゴム刃だけ交換できる。</p>	<p>使用後は、流水で洗い、シャンピングは干して乾かし、ウインドスクイジーは水を取り除き、ゴム刃を上にして保管する。(p49参照)</p>
<p><b>ハンドパッド</b></p> 	<p>携帯用のパッドで、隅や階段のけ込み板の洗浄など局部的な作業に用いる。硬軟各種あり、用途によって使い分ける。明るい色ほど目が細かく、暗い色になるほど目が粗い。</p>	<p>使用後は、よく洗い、網ザルなどに入れ、風通しのよい場所で乾燥させる。</p>
<p><b>パテナイフ ケレン</b></p> 	<p>床に付着した、かさ高の汚れ(ガムなど)を除去するのに用いる。軟らかい建材には、傷がつきやすいので注意する。</p>	<p>使用後は、ケースに入れ、刃の部分を表に出ないようにして保管する。</p>

名 称	特徴と主な用途	保管方法
<p data-bbox="245 443 485 479">ハンドスプレー</p> 	<p data-bbox="639 450 1029 589">部分的に洗剤や水を噴霧する場合に用いる。用途によって霧状・棒状の噴出方法を選べる。対象物から15cm程度離して使用する。</p>	<p data-bbox="1070 450 1460 624">残った場合は、何の洗剤で何倍希釈したのか記入しておく安全である。使用後は、ノズル部分の洗剤などが乾燥し、出にくくなるので、よく洗って保管する。</p>
<p data-bbox="245 846 485 882">スポンジタワシ</p> 	<p data-bbox="639 853 1029 1028">台所用品として使用されているが、表面を傷つけないので、洗浄用として用途も広く、種類も多い。ビニールやナイロン製が多く、裏にパッドが付いたものもある。</p>	<p data-bbox="1070 853 1460 916">使用後は、よく洗い、網ザルなどに入れ、風通しのよい場所で乾燥させる。</p>
<p data-bbox="261 1249 469 1285">亀の子タワシ</p> 	<p data-bbox="639 1256 1029 1467">表面にこびりついた汚れ落としに使用する。タイル面や陶器など表面の硬い材質の清掃に向いている。シダやナイロン製が多いが、ステンレス製のものもあり、より汚れがひどい時に利用されている。</p>	<p data-bbox="1070 1256 1460 1319">使用後は、よく洗い、網ザルなどに入れ、風通しのよい場所で乾燥させる。</p>
<p data-bbox="293 1653 437 1688">ゴム手袋</p> 	<p data-bbox="639 1659 1029 1834">洗剤、薬品を使用する時に手の保護用として着用する。厚さやサイズが数種類あるので、使用目的にあった物を用いる。トイレと洗面台など使用する部位により色分けする。</p>	<p data-bbox="1070 1659 1460 1722">使用後は、ゴム手袋を裏返して洗い、乾燥させる。</p>

名 称	特徴と主な用途	保管方法
<p><b>タオル・超極細繊維クロス</b></p> 	<p>タオルは水拭き、から拭きなどの清掃作業に欠かせないものである。トイレと洗面台など使用する部位により色分けする。通常は八つ折りにて使用する。汚れたタオルは使用しない。超極細繊維クロスはタオルから変わりつつある、拭き作業に重要なクロスである。糸くずは残らず、から拭きの必要もなく、作業効率がよいので、多く使用されている。</p>	<p>使用後は、よく洗い、広げて乾燥させる。(p45参照)</p>
<p><b>モップ</b></p> 	<p>床の拭き清掃や洗剤・ワックスの塗布に用いる。房糸（ラーグ）の色分けをして使用箇所ごとに変わると良い。左側がT字型モップでラーグが細くなったり、糸が抜けてきたらバンドをはずし、ラーグを取り替える。右側のワンタッチモップもラーグが細くなったりゲタの部分から抜けてきたら新しいものと取り替える。小学生が扱いやすい、短い柄の児童用もある。</p>	<p>使用後はよく洗い、吊るすか、ラーグを上にして乾燥させる。糸が交差しないように洗った後、ほくしておく。(p41参照)</p>
<p><b>モップ絞り器</b></p> 	<p>バケツと絞り器が一体になったモップ絞り専用器具。2本のローラーを取り付けペダルを踏むとローラーが房糸を挟んで引き上げながら絞ることが出来ているが、踏む力が弱いと良く絞れないことがあるので注意が必要。</p>	<p>水を捨て、よく洗い、水分を取って保管する。</p>
<p><b>フラッシュモップ</b></p> 	<p>ワックス塗布用として多く使用されている。首も自由に振ることができ、幅木や什器にワックスがつかず作業性がよい。</p>	<p>使用後は、ワックスをよく洗い流した後、よく乾燥させる。</p>

名 称	特徴と主な用途	保管方法
<p style="text-align: center;"><b>バケツ</b></p> 	<p>洗剤の希釈液を作るときや、タオルのすすぎ用などに使われ、その他用途が広い。バケツで希釈できるものもある。容量は、10～15ℓ用が一般的である。</p>	<p>使用後は、よく洗い、水分を取り除いて保管する。</p>
<p style="text-align: center;"><b>計量カップ</b></p> 	<p>洗剤などの希釈倍率を計量するのに用いる。1000mlが一般的に使用されている。希釈倍率は正確に行う。</p>	<p>使用後は、よく洗い、水分を取り除いて保管する。</p>
<p style="text-align: center;"><b>プランジャー</b></p>  <p style="text-align: center;">和式・洋式用      和式・排水口用</p>	<p>トイレや排水口に異物が詰まったときの応急用として用いる。和式用と洋式用がある。</p>	<p>使用後は、よく洗い、水分を取り除いて保管する。</p>
<p style="text-align: center;"><b>棒タワシ</b></p> 	<p>便器などの清掃に用いる。シダ、ナイロン、スチール製があり種類も多い。便器の隅々まで入りやすいものを選ぶとよい。</p>	<p>使用後は、よく洗い、乾燥させて保管する。他の物と一緒にならないようにする。</p>

名 称	特徴と主な用途	保管方法
<p style="text-align: center;"><b>トイレバケツセット</b></p> 	<p>仕切り板があり、洗剤・ブラシが一緒にならず清潔感がある。</p>	<p>定期的にバケツの中の物を出し、よく洗い、水分を取り除く。</p>
<p style="text-align: center;"><b>中性洗剤</b></p>  <p>〈一般家庭用〉      〈業務用〉</p>	<p>一般家庭で使用されている安全性の高い洗剤である。スポンジタワシに少量つけて泡立たせて使用する。また、手垢など油成分が付着したガラスの清掃にも活用でき、いろいろなメーカーから販売されている。業務用中性洗剤は、汚れの状況によって10～100倍に希釈して使用する。水洗いのできる各種基材（ビニルレザー、スチール製品、ガラス、鏡、浴室、トイレルーム、プラスチック製品、陶磁器など）の洗浄に使用できる。</p>	<p>使用後は、キャップ及びコックをしっかり閉めて保管する。一度容器から出した洗剤は、再び元の容器に戻さない。凍結する恐れのある場所や40℃以上の高温になるところには保管しない。</p>
<p style="text-align: center;"><b>カーペット用洗剤</b></p> 	<p>優れた泡立ちにより、カーペットの濡らし過ぎを抑え、効果的に汚れを除去する。乾燥後はパウダー状になるため、残留成分による再汚染促進の心配がない。マイルドな中性タイプなので、ウールなどの素材にも使用できる。30倍に希釈して使用する。しみ取りキットには水溶性しみ取り剤と油性しみ取り剤があり、しみ（汚れ）の種類を見分けることが大切である。</p>	<p>使用後は、キャップ及びコックをしっかり閉めて保管する。一度容器から出した洗剤は、再び元の容器に戻さない。凍結する恐れのある場所や40℃以上の高温になるところには保管しない。</p>
<p style="text-align: center;"><b>弱アルカリ洗剤</b></p> 	<p>陶磁器質、石質、塩ビ質の床材をはじめ金属、照明器具、壁面、各種塗装面など大抵の建材の洗浄に用いられる洗剤。軽度な油汚れなども除去できる。通常、水または温湯で50～80倍くらいにすすめて使用する。使用後はすすぎを行う必要がある。</p>	<p>キャップをよく締めて、転倒してもこぼれ出ないようにし、注ぎ口に付いた洗剤を洗い流し、水分を取って保管する。</p>

名 称	特徴と主な用途	保管方法
<p style="text-align: center;"><b>業務用アルカリ洗剤</b></p> 	<p>業務用アルカリ洗剤は、汚れの状況によって10～100倍に希釈して使用する。水洗いのできる各種基材の洗浄に使用できる。洗浄後、タオルでの水拭きが必要である。 特に床面の表面洗浄作業に適している。</p>	<p>使用後は、キャップ及びコックをしっかりと閉めて保管する。一度容器から出した洗剤は、再び元の容器に戻さない。凍結する恐れのある場所や40℃以上の高温になるところには保管しない。</p>
<p style="text-align: center;"><b>剥離剤</b></p> 	<p>ワックス(床維持剤)の剥離作業に使用する。ワックスの塗り重ね状況によって5～30倍に希釈して使用する。強アルカリ性なので、使用時には、必ずビニル手袋を着用する。剥離後、水によるすすぎ洗いを充分に行う。 リノリウム床やゴム床の場合は、床材が変色する可能性があるので注意する。</p>	<p>使用後は、キャップ及びコックをしっかりと閉めて保管する。一度容器から出した剥離剤は、再び元の容器に戻さない。凍結する恐れのある場所や40℃以上の高温になるところには保管しない。</p>
<p style="text-align: center;"><b>クリームクレンザー</b></p> 	<p>浴槽、浴室の床・壁・イス・洗面器などの石鹸カスや湯垢の除去に使用。塗装面や大理石などの石材には材質を傷めてしまう恐れがあるので使用しないこと。溶液と研磨剤が分離していることがあるので、使用前によく振ってから使用するとよい。使用の際は、柔らかいスポンジや布に含ませて使用する。使用後は必ず十分な水で洗い流す。</p>	<p>使用後は、そそぎ口を流水で洗っておく。そそぎ口が固まってしまうことがある。</p>
<p style="text-align: center;"><b>トイレ洗剤</b></p> 	<p>便器に付着した尿石や水垢などの汚れの除去に使用する。汚れの状況がひどい場合は、酸性タイプを使用する。使用時には、必ずビニル手袋を着用する。酸性トイレクリーナーは、塩素系漂白剤やカビ取り剤との混合は絶対にしてはならない。</p>	<p>使用後は、キャップをしっかりと閉めて保管する。凍結する恐れのある場所や40℃以上の高温になるところには保管しない。</p>



名 称	特徴と主な用途	保管方法
<p style="text-align: center;"><b>カビ取り剤</b></p> 	<p>給湯室の流し台や浴室のタイル目地などに発生したカビの除去に使用する。上部に使用する際は、マスクやゴーグルを着用する。酸性トイレ洗剤との混合は絶対にしてはならない。</p>	<p>使用後は、キャップ及びコックをしっかり閉めて保管する。一度容器から出したカビ取り剤は、再び元の容器に戻さない。凍結する恐れのある場所や40℃以上の高温になるところには保管しない。</p>
<p style="text-align: center;"><b>漂白剤</b></p> 	<p>給湯室の茶渋落とし、プラスチック製品の汚れ落とし、除菌、漂白に使用する。また、モップやタオルの除菌、漂白にも使用する。多用するとモップやタオルの劣化が早まるので注意する。また、60倍～300倍に希釈し、拭くことで、机や椅子、ドアノブなど様々な場所のウイルスの消毒にも使用できる。酸性トイレ洗剤との混合は絶対にしてはならない。</p>	<p>使用後は、キャップをしっかり閉めて保管する。一度容器から出した漂白剤は、再び元の容器に戻さない。凍結する恐れのある場所や40℃以上の高温になるところには保管しない。</p>

## 洗剤の正しい使い方

### 1) 洗剤の希釈倍率と原液の量

$$\text{希釈倍率} = \frac{\text{洗浄液}}{\text{洗剤原液の量}} \quad \text{洗剤原液の量} = \frac{\text{洗浄液}}{\text{希釈倍率}}$$

※ 洗浄液 = 洗剤原液の量 + 水の量  
※ 水の量 = 洗浄液 - 洗剤原液の量

### 2) 洗剤の濃度と洗浄力

洗剤の濃度とその洗浄力は、一定の濃度までは正比例して向上しますが、その限界を超えると平行線をたどり向上しません。さらに洗剤の濃度が高すぎることによって対象物の素材を傷めたり、すぎや水拭きに時間がかかり過ぎるなどの逆効果を生みます。

### 3) 洗剤の保管

作業が終了し、洗剤が余った場合は、元の缶に戻したり、他の洗剤と一緒に混ぜたりせず、何倍の希釈液かを明記して保管するようにします。洗剤には、中性や弱アルカリ性洗剤などの他に、強酸性や強アルカリ性洗剤があります。これらは、一般洗剤と一緒にせず、高温、多湿、直射日光の当たる場所を避け、冷暗所に保管し、児童が持ち出さないように施錠します。また、時間の経過とともに容器が腐食したり、変形して外へ漏れていく場合もあるため、使用頻度の少ない場合は容器の状況を点検したり、開封時にその年月日を記録しておく安全です。

### 4) 洗剤の混合

カビ取り剤、トイレ用洗剤、漂白剤、排水パイプの洗浄剤などには、殺菌力、消毒力、漂白剤を持つ次亜塩素酸ソーダが多用されています。この薬品はアルカリ性の状態では非常に安定していますが、酸性のものと混合すると強い刺激臭がある黄色い塩素ガスを発生します。このガスを吸うと気分が悪くなったり、大量に吸った場合は呼吸困難になり、大きな事故につながるため絶対に混合してはいけません。

### 5) 洗剤が目に入った場合

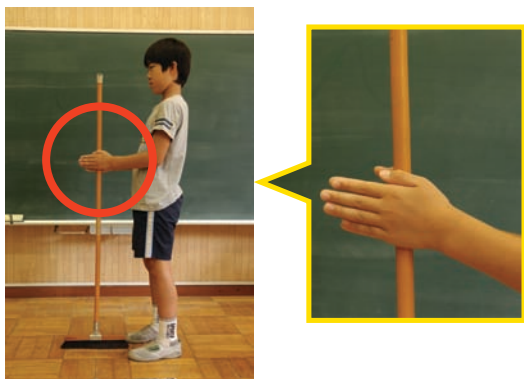
洗剤が目に入った場合は、こすらずに流水でよく洗い、医師の診察を受けた方がよいでしょう。

自在ぼうき[3-2-1]・毛がき 参考ページ/P12 片手ちり取り 参考ページ/P15

 **ポイント** | よい姿勢を保つことで、無駄な力を入れず効率よく作業ができます。

## 自在ぼうきの「持ち方」

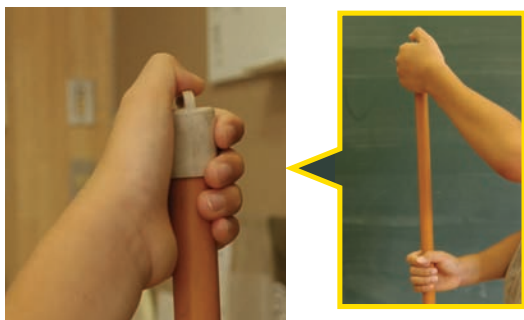
**1** 両方の手のひらを身体の前で合わせる。



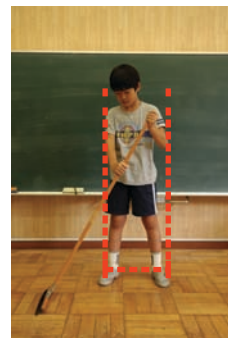
**2** 片方の手で柄の先端部に親指をのせて握り、もう片方の手はおへその位置にずらす。



**3** 両方の手で柄を軽くにぎる。



両足を肩幅に広げて背筋を伸ばし、やや前屈みの姿勢が一番疲れない。



### 持ち方の悪い例

両手の持ち幅が狭すぎる。



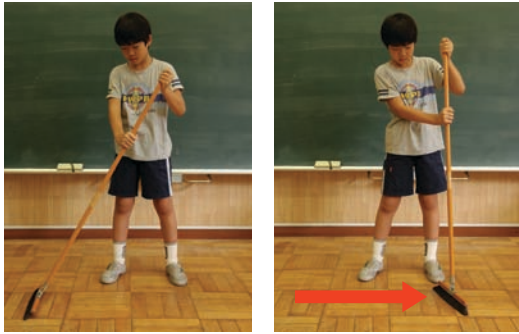
両手の持ち幅が広すぎる。



 **ポイント** 前進しながら掃く。

## 自在ぼうきの「掃き方」

**1** 身体と水平に掃く。掃き幅は下の手が伸びるところで止めて、上になっている手の方の足元で止める。



**2** 掃きながら前へ進む。  
※ゴミやホコリを踏まないように!



**3** 穂先を床から離さないで軽く押さえるように掃く。  
(押さえ掃きといいます) ※ホコリを舞い上げないように!



正しい姿勢でゴミやホコリの掃き残しがないように掃く。



### 掃き方の悪い例

立てすぎる・離れすぎる。 ※床とほうきに隙間ができ、ゴミが取れない。




穂先をはねあげている。



※ホコリが舞い上がる。



 **ポイント** | ゴミは数回に分けて集め、その都度取る。(ゴミを大量に集めない)

## ゴミの「回収方法」

**1** ゴミを1ヶ所に集める。

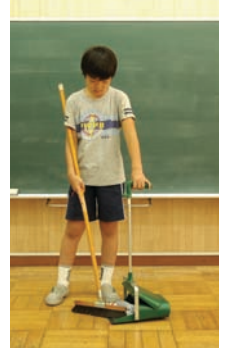


〈2人で作業する場合〉



〈1人で作業する場合〉

**2** 手首を使って掃き込むようにして取る。  
※穂先部分の2/3程度をちり取りの中に入れる。



**3** 後ろへ2~3回ずらして取る。  
※1回1回ゴミを集めなおして取る。



ゴミやホコリの取り残しがないように取る。



### 回収方法の悪い例

穂先部分の全体で取る。 ※ゴミの取り残しが出る。



ゴミを1ヶ所で集めないで  
その場その場で取る。



※時間がかかる。

 **ポイント** 吊すか、毛先を上にして保管する。

## 自在ぼうきの「保管の仕方」

**1** 使用後は毛がきで手入れする。  
定期的に流水で毛先を整える。吊して保管する。



**2** 毛先を上にして保管する。



### 保管の仕方の悪い例

毛先を下にして保管する。  
※毛先に変なくせがつく。



 **ポイント** | 自在ぼうきと同じように持ち、前進しながら掃く。

## シダぼうきの「掃き方」

- 1** 穂先を浮かすようにして掃く。  
※主に大きなゴミだけを取る。



- 2** 隅を念入りに掃きだす。



- 3** 隅から外へゴミを出す。



ゴミやホコリの取り残しがないように取る。




### 掃き方の悪い例

穂先を浮かしすぎる。



穂先を押しつけすぎる。



 **ポイント** おもに外の大きいゴミを取り除く。

## ゴミの「回収方法」

**1** ゴミを1ヶ所にまとめる。  
※一度にたくさん集めないで  
こまめに集める。



**2** 手首を使って掃き込む  
ようにして取る。



**3** その都度ゴミを取る。



ゴミやホコリの  
取り残しがないように取る。




## ゴミの回収方法の悪い例

ちり取りの後ろから取る。  
※ゴミが取りづらい。



穂先の全体で取る。



 **ポイント** 穂を上にして保管する。

## シダぼうきの「保管の仕方」

**1** 定期的に水に浸し、くせを直す。  
穂を上にして保管する。



**2** 吊して保管する。



## 保管の仕方の悪い例

穂先を下に置いて保管する。  
※穂に変なくせがつく。



 **ポイント** | 片側・前後に片寄らないよう、中央に位置を合わせる。

## ダストクロスの「取りつけ方」

- 1** ダストクロスを広げ、中央に合わせる。  
※片ひざをつき、かがんで取りつける。



- 2** ダストクロスを折り返して両端をとめる。  
※メーカーによりとめ方に違いがある。



- 3** 片ひざをついて、セットする。  
※安全に注意する。

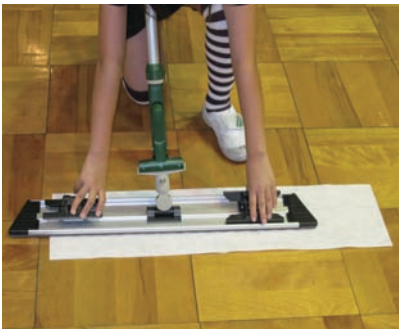


片側・前後に片寄っていないか。



### 取りつけ方の悪い例

片側・前後に片寄ってセットする。



不安定な格好でセットする。





 **ポイント** 自在ぼうきと同じように持ち、前進しながら掃く。

## ダストクロスの「掃き方」

**1** [広い廊下など]掃き終わった列との間があかないように、10cm程度重なるように掃きながら前に進む。



- ※ゴミを処理しやすい場所に集める。
- ※ゴミの上を歩かない。
- ※クロスへの向きはいつも同じにすること。

**2** [部屋の中など]前進しながら横8の字を描くように掃く。  
※ゴミを処理しやすい場所に集める。



**3** [狭い場所]備品にあてないようにゴミを掃き出す。  
※ゴミを奥の方に押し込まない。



両足を肩幅に広げ、背筋を伸ばし、やや前屈みの姿勢が一番疲れない。



### 掃き方の悪い例

ヘッドを床から離す。



見えにくい場所にゴミを押し込む。



 **ポイント** 足は肩幅に広げ、進む方の足を半歩前に出して無理のない姿勢で行う。

## 真空掃除機(ポット型)の「持ち方」

**1** コードを巻いて、本体やホースなどを身体の横に持ち、まわりの人にじゃまにならないように運ぶ。



**2** 足は肩幅に広げ、進む方の足を半歩前に出す。



**3** ウォンド(柄)を両手で握る。  
※あまり強く握り締めないように注意する。



無理のない姿勢で行う。



### 持ち方の悪い例

吸込口が遠すぎる・近すぎる。  
※すぐ疲れる。またゴミの吸い込みも悪い。



ホースやコードに足をからめる。  
※転倒することがある。



 **ポイント** 前後に動かし、ゆっくり作業を行う。

## 真空掃除機（ポット型）の「動かし方」

**1** 床面に吸込口の全面を軽くあてる。



**2** ウオンド（柄）を前方へ押す・引くを繰り返す。



※早く引きすぎるとホコリを吸い込まない。

**3** 吸い込み作業の間隔が3cm位重なるようにして、横に移動する。



※重ならない場合は、取り残しがでる。

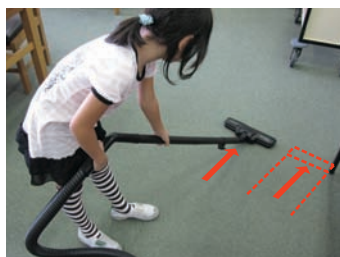


正しい姿勢でゴミやホコリの取り残しがないように動かす。



### 動かし方の悪い例

吸込口を床面に押しつけすぎる。  
また、吸い込み作業の間隔があきすぎる。



※吸引が弱くなりホコリが取りきれない。

※ホコリの取り残しがでる。

壁などにぶつける。 ※壁及び幅木が傷つく。



 **ポイント** 掃除機は安全に取り扱い、内部にたまったゴミやホコリを取り除き保管する。

## 真空掃除機（ポット型）の「保管の仕方」

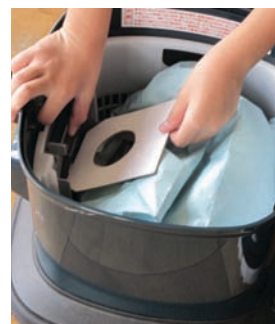
**1** [安全]コードはプラグを持って抜く。



※コード、プラグ、コネクターは、傷んだ物を使用しない。

※濡れた手でプラグを持ってはいけない。

**2** 使用後は、内部にたまったゴミやホコリを取り除き、ゴミフィルターをセットする。



**3** コード、ホースなどを整理し、タオルで拭き保管する。  
※乾燥した場所に保管する。



コード、プラグ、掃除機は安全に取り扱う。




### 保管の仕方の悪い例

コードをひっぱって抜く。  
※断線及びショートなどがおきる。



コードを巻かない。ホースをそのままにする。



 **ポイント** | 片手を本体、もう片方の手でコードを持ちながら、無理のない姿勢で行う。

## 真空掃除機(アップライト型)の「持ち方」

**1** コードを巻いて本体前部を浮かして運ぶ。



**2** ペダルに足をかけて掃除機を使いやすいところまで下げる。  
※安全のために本体は両手で支えておく



**3** ハンドルは写真のように握る。  
※片手を本体、もう片方の手でコードを持つ。



無理のない姿勢で行う。



### 持ち方の悪い例

コードを持たない。



後ろにもって運ぶ。 ※安全ではない。



 **ポイント** | 正しい姿勢でゴミやホコリの取り残しがないように作業する。

## 真空掃除機（アップライト型）の「動かし方」

**1** 床面に吸込口の全面を軽くあてる。



**2** ハンドルを前方へ押し・引くを繰り返す。



※早く引きすぎるとホコリを吸い込まない。

※吸い込み作業の間隔が3cm位重なるようにして、横に移動する。

※重ならない場合は、取り残しがでる。

**3** 壁ぎわ及びコーナーは附属専用のアタッチメントに替えて行う。



正しい姿勢でゴミやホコリの取り残しがないように作業する。



### 動かし方の悪い例

吸い込み作業の間隔があきすぎる。壁などにぶつける。  
※ホコリの取り残しがでる。壁及び幅木が傷つく。



コードを踏む。※安全ではない。



 **ポイント** 掃除機は安全に取り扱い、内部にたまったゴミやホコリを取り除き保管する。

## 真空掃除機（アップライト型）の「保管の仕方」

- 1** [安全]コードはプラグを持って抜く。  
※コード、プラグ、コネクターは、傷んだ物を使用しない。  
※濡れた手でプラグを持ってはいけない。



- 2** 使用後は、内部にたまったゴミやホコリを取り除き、ゴミフィルターをセットする。



- 3** コード、ホースなどを整理し、タオルで拭き保管する。 ※乾燥した場所に保管する。



コード、プラグ、掃除機は安全に取り扱う。



### 保管の仕方の悪い例

コードをひっぱって抜く。  
※断線及びショートなどがおきる。



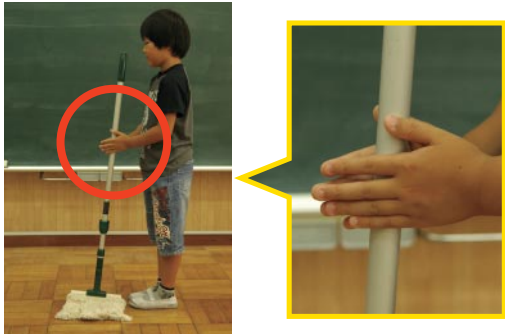
コードを巻かない。そのままにする。



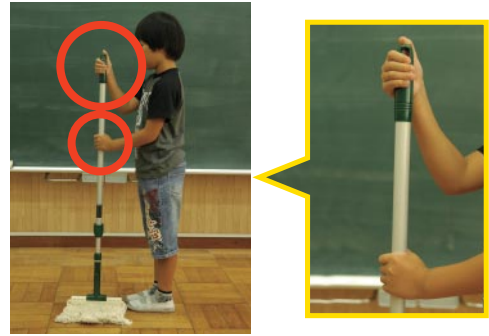
 **ポイント** | よい姿勢を保つことで、無駄な力を入れず効率よく作業ができます。

## モップの「持ち方」

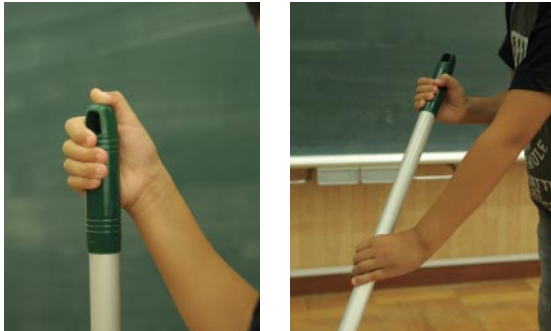
**1** 両方の手のひらを身体の前で合わせる。



**2** 片方の手で柄の先端部に親指をのせて握り、もう片方の手はおへその位置にずらす。



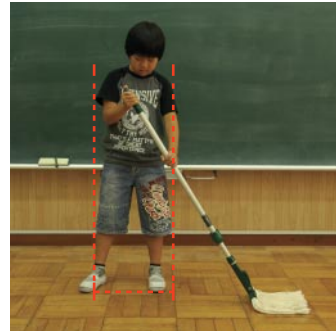
**3** 両方の手で柄を軽くにぎる。  
※身長に応じて先端部に握り替える。



〈柄の先端部に手が届かない場合〉



両足を肩幅に広げて背筋を伸ばし、やや前屈みの姿勢が一番疲れない。



### 持ち方の悪い例


立てすぎる。



両手の持ち幅が広すぎる。





 **ポイント** | モップの拭き方には、洗剤拭き・水拭き・から拭きがある。

## モップの「拭き方」

**1** | モップの房糸の向きが外向きになるように床につける。  
※房糸が丸まったり、向きが内向きにならないように。



**2** | 拭き跡が横一線になるように左右に動かし、後退しながら拭く。



**3** | 汚れたらモップの房糸を裏返す。



(裏返しになる瞬間)



モップの房糸は汚れたら早めに交換、又は洗う。  
※そのまま使うと汚れを広げる。



### 拭き方の悪い例

離れすぎる。※姿勢が悪くすぐ疲れる。汚れが取れない。



壁及び幅木にモップをあてる。※モップであてたところが汚れる。



 **ポイント** 水が透明になるまで、よくすすぐ。

## モップの「洗い方・絞り方」

- 1** モップの棒をゆすり、房糸が水の中で踊るように洗う。  
※房糸に付いたホコリや髪の毛が取れる。  
※シンクがない場合はバケツに水を入れて洗う。



- 2** 裏表を交互に、流水で洗う。  
※交互に洗わないと汚れは落ちない。

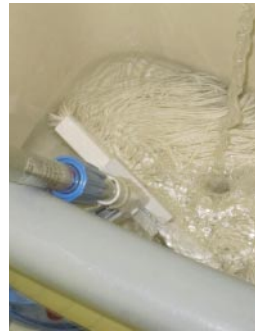


- 3** 房糸を2つに分けて内側に絞り込むようにしてかたく絞る。  
※水が床にたれないように。  
※手が小さい場合は、小分けにして絞る。



水が透明になるまでよくすすぐ。

モップ絞り器を使う場合は、タンクに入れた水で房糸を洗い、ペダルを踏んでローラーに房糸をはさんで引き上げながら絞ることができる。



### 洗い方・絞り方の悪い例

モップの柄を真上に立て房糸をゆすぐ。※天井にあたり危ない。



房糸を一つにまとめて絞る。※かたく絞れない。



 **ポイント** | 吊すか、房糸を上にして保管する。

## モップの「保管の仕方」

**1** | 手ぐしで房糸の絡みをほぐす。



**2** | 止め金具の間に指を入れて分ける。



**3** | 止め金具から房糸を両側に分け、手で房糸をそろえる。



左側のT字モップの場合は房糸を上にするか、吊して乾燥させる右側のワンタッチモップは、房糸を吊して乾燥させる。



### 保管の仕方の悪い例

房を絞ったままで干す。 ※そのまま乾燥してしまうため。



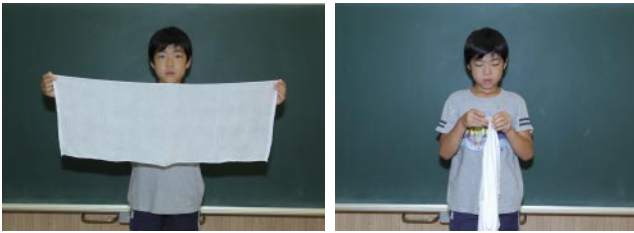
房を床においたままで乾燥させる。



 ポイント | たたんだタオルの折り目がない方に親指をかける。

## タオルの「持ち方」

**1** | タオルを広げて両はじを持って内側に折る。



**2** | 横半分に折る(2つ折り)。さらに半分に折る(4つ折り)。



**3** | さらに半分に折る(8つ折り)。



八つ折りにたたんで折り目がない方に親指をかけて持つ。




### 持ち方の悪い例

くしゃくしゃにして拭く。 ※拭きむらができる。



大きく広げて拭く。 ※きれいに拭けない。



 **ポイント** | タオルの拭き方には、洗剤拭き・水拭き・から拭きがある。

## タオルの「拭き方」

- 1** 隔々に拭き残しがないように拭く。  
※拭き跡が重なるように拭く。  
※横拭き・縦拭きの格子拭きで拭くと拭きムラができない。



- 2** 机などに手を軽く添えて拭く。



- 3** 親指をかけて拭く。



正しい姿勢で拭く。

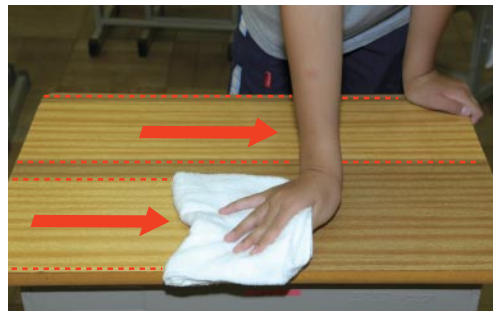


### 拭き方の悪い例

タオルを丸めて拭く。 ※汚れを取りきれない。



間隔があく。 ※拭き残しができる。



 **ポイント** | 両手で内側にかたく絞り込む。

## タオルの「洗い方・絞り方」

**1** | タオルを棒状に伸ばし、二つ折りにし、さらに二つ折りにする。



**2** | タオルを両手のひらにのせて内側に絞る。



**3** | 水がたれなくなるまで同じ動作を繰り返す。



両手で内側に絞り込み、かたく絞る。



### 洗い方・絞り方の悪い例

丸めて絞る。 ※かたく絞れない。



立ったまま絞る。 ※水がまわりに飛び散る。



 ポイント | 広げて、よく乾燥させる。

## タオルの「保管の仕方」

**1** 洗い終わったら、広げてよく乾燥させる。



**2** 乾燥したタオルは、八つ折りにして保管する。



**3** 色分けして保管する。  
※タオルは使用箇所ごとに色分けして使うとよい。



竿などにかけてよく乾燥させる。



### 保管の仕方の悪い例

絞ったままで干す。※そのまま乾燥してしまうため。



汚れたまま干す。



 **ポイント** 両足を半身に広げ、背筋を伸ばしてやや前屈みの姿勢が作業しやすい。

## デッキブラシの「持ち方」

**1** 片方の手で柄の先端を握り、もう片方の手で柄の下の方を上から握る。  
下の手の方の足を半歩前に出す。



**2** 前後にこするようにして洗う。  
ブラシ面を床と平行にして行う。



**3** 角度に注意してブラシが床面に均等に当たるようにする。



両足を半身に広げ、背筋を伸ばし、やや前屈みの姿勢が一番疲れない。



### 持ち方の悪い例

片手で持つ。 ※力が入らない。



柄を立て過ぎる。



柄を寝かせすぎる。





 ポイント | ブラシにクセがつかないように。

## デッキブラシの「保管の仕方」

**1** ブラシ部分を上にして保管する。




**2** 吊して保管する。



### 保管の仕方の悪い例

ブラシ部分を床において保管する。※ブラシに変なくせがつく。



 **ポイント** | 両足を半身に広げ、背筋を伸ばしてやや前屈みの姿勢が作業しやすい。

## フロアスクイジーの「持ち方」

**1** 片方の手で柄の先端を握り、もう片方の手で柄の下の方を上から握る。下の手の方の足を半歩前に出す。



**2** 前方から手前の方に引いて汚水を集める。押しはいけない。



**3** 角度に注意して床面につける



両足を半身に広げて背筋を伸ばし、やや前屈みの姿勢が一番疲れない。



### 持ち方の悪い例

柄を立て過ぎる。



柄を寝かせ過ぎる。



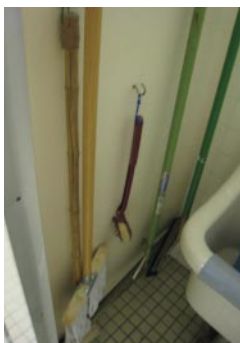
 **ポイント** | ゴム刃を傷めないように。

## フロアスクイジーの「保管の仕方」

**1** ゴム刃を上にして保管する。



**2** 吊して保管する。



### 保管の仕方の悪い例

ゴム刃を床において保管する。  
※ゴム刃に変なくせがつく。



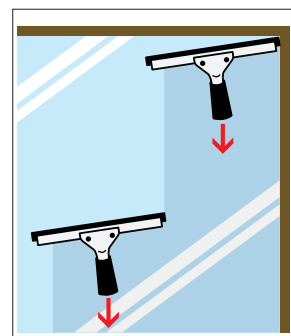
 **ポイント** | 体全体を動かす。

## ウインドスクイジーの「持ち方」

**1** 握り部分を写真のように握り、ゴム刃の部分をガラス面に軽く押しあてる。



**2** 縦引きの場合は、引き終わった側を3cm先行させる。引き終わった面にゴム刃を少し重ねること。

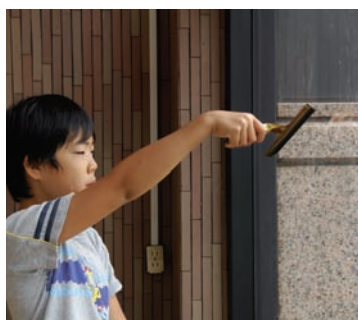


手だけでなく、体全体を動かすとよい。

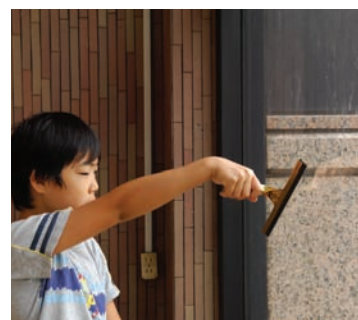


### 持ち方の悪い例

ゴム刃を立てすぎる。  
※うまく汚水が取れない。



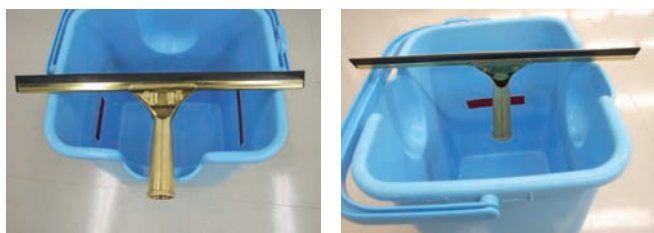
ゴム刃が立ったままで腕だけ先に下りている。  
※金属部分でガラスに傷をつける。



 **ポイント** | ゴム刃を傷めないように。

## ウインドスクイジーの「保管の仕方」

ゴム刃を上にして保管する。



### 保管の仕方の悪い例

ゴム刃を下にして保管する。 ※ゴム刃に変なくせがつく。




# 4

## 清掃の手順

教室(塩ビ床及び木床) [4-1]

自在ぼうき・毛がき 参考ページ/P12 片手ちり取り 参考ページ/P15

 **ポイント** | 自由に人が出入りする場所なので、作業中の安全に対して常に注意が必要です。

### 【作業の手順】

1) 床をほうきで掃く		
①教室の窓を開ける。		
②椅子を机の上にあげ、教室の後方に移動する。 机は引きずらないように、持ち上げて移動する。		
③ほうきで、ゴミやホコリを踏まないように前方へ掃き進む。		
④動かせない机の下などは、広い方へ掃き出す。		
⑤狭いところから広い方へ、隅から真ん中へ掃く。	③	⑤
⑥ちり取りでゴミを取る。		
⑦教室の前方の作業が終了した後、机を前方に移動する。		
⑧教室の後方も、前方作業と同様にすすめる。	⑥	⑦
⑨教室の後方の作業が終了した後、机を元の状態にもどし、椅子を下ろす。		
⑩道具を片付ける。ほうきに付いた綿ボコリを毛がきで手入れする。		
	⑨	⑩

<p><b>2) 床をモップで拭く(汚れがひどい場合)</b></p>	 	
<p>①モップの房糸を水に濡らし、よく絞る。水が多すぎると床に水分を残し、かえって床を汚すので注意する。</p>	②	③
<p>②拭き跡が横一直線になるように、モップを左右に動かして拭くのが原則であるが、狭い場所は縦に拭くなど、適宜の方法による。モップを幅木や壁にあてないように注意する。</p>	 	
<p>③作業は後退しながら行い、拭いたところをできるだけ踏まないようにする。</p>	⑤	⑥
<p>④隅から真ん中へ拭く。</p>		
<p>⑤房糸が汚れてきたら裏返して使う。</p>		
<p>⑥房全体が汚れてきたら、きれいな水で洗い、絞って使う。</p>		
<p><b>3) 机をタオルで拭く</b></p>		
<p>①タオルを水に濡らし、かたく絞る。</p>	 	
<p>②机全体を拭く。</p>	①	②
<p><b>4) 黒板を拭く</b></p>		
<p>①黒板を黒板消しで縦、横、隙間なく拭く。</p>	 	
<p>②チョークの粉を集める。</p>	①	③
<p>③黒板消しをクリーナーできれいにする。</p>	 	
<p>④定期的に黒板を水拭きする。</p>	④-1	④-2







**注意事項**

- ・自由に入出りができる場所であるため周囲への気配りが必要。
- ・走りながら作業をすると人と接触して危ない。
- ・ほうきやモップの柄が人にあたらないように、安全に作業する。
- ・木床の場合は、そりが出るため、水拭きはさける。

**掃除機**（ボット型かアップライト型）参考ページ/P14～P15 **ハンドスプレー** 参考ページ/P18 **タオル**（白）参考ページ/P19  
**ブラシ・しみ取り剤**（水溶性・油溶性）参考ページ/P21

 **ポイント** | しみ取りは日々のこまめな作業が必要です。また、カーペットの全面洗浄は専門業者に！

## 【作業の手順】

<p><b>1) 床を掃除機で除塵する</b></p>		
<p>①大きなゴミを拾う。</p>	<p>②-1</p>	<p>②-2</p>
<p>②掃除機で除塵する。簡易に行う場合は、カーペットスーパー（参考ページ/P14）を利用する。</p>		
<p><b>2) 床の水溶性のしみを取る</b></p>	<p>②)-①</p>	<p>②)-②</p>
<p>①水溶性しみ取り剤をしみに四方向から棒状に噴霧する。</p>	<p>②乾いたタオルにブラシをあてしみをタオルに移し取る。しみを除去できるまで繰り返す。</p>	<p>③しみ跡に水を噴霧し、水分を乾いたタオルで移し取る。</p>
<p>④ブラシで起毛する（ブラシがない場合は亀の子タワシを使用する）。</p>		
<p><b>3) 床の油溶性のしみを取る</b> 2)で取れなかったしみをとり</p>	<p>②)-③</p>	<p>②)-④</p>
<p>①油溶性しみ取り剤をしみに四方向から棒状に噴霧する。</p>	<p>②乾いたタオルにブラシをあてしみをタオルに移し取る。しみを除去できるまで繰り返す。</p>	<p>③溶剤分を水溶性しみ取り剤で取り除く。</p>
<p>④2)の①～④まで同じ作業を行う。</p>		

**注意事項**

- ・カーペットの性質上、土砂などが堆積したままでその上を歩行すると、へたりの原因になる。
- ・しみは、付着してから時間がたつと除去しにくくなるため、日々のこまめなしみ取り作業が必要。
- ・全面洗浄は、特殊な技術と資機材が必要であるため、専門業者に依頼することを推奨する。

 **ポイント** | 歩行者が多いので、周囲への気配りを忘れずに。

## 【作業の手順】

<p><b>1) 床をほうきで掃く</b></p>		
<p>①ゴミやホコリを踏まないように前方へ掃き進む。</p>	<p>①</p>	<p>②</p>
<p>②狭いところから広い方へ、隅から真ん中へ掃いていく。</p>		
<p>③什器などの下は広い方へ掃き出す。</p>		
<p>④途中でところどころに集めて、ちり取りで取る。</p>		
<p>⑤道具を片付ける。ほうきに付いた綿ボコリを毛がきで手入れする。</p>		
<p><b>2) 床をモップで拭く (汚れがひどい場合)</b></p>		
<p>①モップの房糸を水に濡らし、かたく絞る。水が多すぎると床に水分を残し、かえって床を汚すので注意する。</p>	<p>②</p>	<p>④</p>
<p>②拭き跡が横一直線になるように、モップを左右に動かして拭くのが原則であるが、狭い場所は縦に拭くなど、適宜の方法による。モップを幅木や壁にあてないように注意する。</p>		
<p>③作業は後退しながら行い、拭いたところをできるだけ踏まないようにする。</p>	<p>⑤</p>	<p>⑥</p>
<p>④隅から真ん中へ拭く。</p>		
<p>⑤房糸が汚れてきたら裏返して使う。</p>		
<p>⑥房全体が汚れてきたら、きれいな水で洗い、絞って使う。</p>		
<p><b>3)ロッカーや什器をタオルで拭く</b></p>		
<p>①タオルを水に濡らし、よく絞る。</p>		
<p>②ロッカーや什器全体を拭く。</p>		


**注意事項**

- ・歩行者が多い場所であるため周囲への気配りが必要。
- ・走りながら作業をすると人と接触して危ない。
- ・ほうきやモップの柄が人にあたらないように、安全に作業する。

自在ぼうき 参考ページ/P12 片手ちりとり 参考ページ/P15 モップ・タオル 参考ページ/P19  
 バケツ 参考ページ/P20

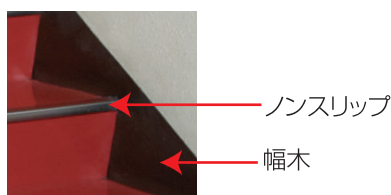
 **ポイント** 後ろ向きの作業が多くなるので、安全に気を付けて周囲への気配りも忘れずに。

## 【作業の手順】

<p><b>1) 床をほうきで掃く</b></p>		
<p>①階段の上から下に掃きおろす。ホコリを踏段の両隅から中央部分に寄せ集めて、中央部から下方へ掃きおろす。</p>	<p>①-1</p>	<p>①-2</p>
<p>②各階ごとの踊り場でゴミを集めて、ちり取りで取る。</p>		
<p>③道具を片付ける。ほうきに付いた綿ボコリを毛がきで手入れする。</p>	<p>①-3</p>	<p>②</p>
<p><b>2) 床をモップで拭く(汚れがひどい場合)</b></p>		
<p>①モップの房糸を水に濡らし、かたく絞る。水が多すぎると床に水分を残し、かえって床を汚すので注意する。</p>	<p>②-1</p>	<p>②-1</p>
<p>②幅木に触れないように、両側から中央に、または左右どちらか一方に向けて拭く。</p>	<p>②-1</p>	<p>②-1</p>
<p>③作業は後退しながら行き、拭いたところをできるだけ踏まないようにす。</p>	<p>②-1</p>	<p>②-1</p>
<p>④房糸が汚れてきたら裏返して使う。</p>	<p>②-1</p>	<p>②-1</p>
<p>⑤房全体が汚れてきたら、きれいな水で洗い、絞って使う。</p>	<p>②-1</p>	<p>②-1</p>
<p><b>3) 手すりをタオルで拭く</b></p>		
<p>①タオルを水に濡らし、かたく絞る。</p>	<p>②-1</p>	<p>②-2</p>
<p>②手すり全体を拭く。下から上へと拭く方が安全。</p>	<p>②-1</p>	<p>②-2</p>

**注意事項**

- ・床面清掃のほかノンスリップの手入れが必要。
- ・基本的に後ろ向きの作業となり、安全のため両足を同じ段におかないようにする。
- ・作業については周囲への気配りが必要。



**使い方の悪い例**





 **ポイント** | 溜まった土砂や雨水は取り除きましょう。

## 【作業の手順】

<p><b>1) 床をほうきで掃く</b></p>		
<p>①スノコなどの備品を邪魔にならない場所に移動、またはたてかける。</p>	<p>②-1</p>	<p>②-2</p>
<p>②土足と室内の床は、別々に清掃する。</p>		
<p>③狭いところから広い方へ、隅から真ん中へ掃く。</p>	<p>⑤-1</p>	<p>⑤-2</p>
<p>④什器などの下は広い方へ掃き出す。</p>		
<p>⑤とところどころにゴミを集めて、ちり取りで取る。</p>	<p>⑥</p>	<p>⑦</p>
<p>⑥道具を片付ける。ほうきに付いた綿ボコリを毛がきで手入れする。</p>		
<p>⑦マットは、真空掃除機で除塵する。</p>		
<p><b>2) 床をモップで拭く(汚れがひどい場合)</b></p>		
<p>①モップの房糸を水に濡らし、かたく絞る。このとき、水が多すぎると床に水分を残し、かえて床をよごしてしまうので注意する。</p>		
<p>②作業は後退しながら行い、拭いたところをできるだけ踏まないようにする。</p>	<p>①-1</p>	<p>①-2</p>
<p>③房糸が汚れてきたら裏返して使う。</p>		
<p>④房全体が汚れてきたら、きれいな水で洗い、絞って使う。</p>		






**注意事項**

- ・できるだけ雨水を放置しないよう心がける。
- ・スノコ及びマットは、可能な限り移動して作業する。

 **ポイント** | 汚染の拡大を防ぐため、資機材の使い分けを徹底し、衛生面に十分な配慮をする。

## 【作業の手順】

<p><b>1) 床をほうきで掃く</b></p> <p>① 各個室から広い方へ掃き出し、広い部分は奥から入り口に向かって掃く。</p>	 <p>①</p>
<p><b>2) 洗面台・鏡をスポンジやタオルで拭く</b></p> <p>① 備品などを作業の邪魔にならない場所に移動する。</p>	 <p>②-1</p>  <p>②-2</p>
<p>② 洗面台をスポンジで水洗いし、乾いたタオルでから拭きする。</p>	 <p>③-1</p>
<p>③ 鏡をタオルで水拭きし、乾いたタオルでから拭きする。</p>	 <p>③-2</p>


<p><b>3) 衛生陶器(便器)を棒タワシとタオルで拭く</b></p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>②-1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>②-2</p> </div> </div>
<p>①便器内を棒タワシで洗浄する。特に小便器の目皿や便器の裏側は入念に行う。</p>	
<p>①便器外側はタオルで水拭きと、乾いたタオルで拭きをする。</p>	
<p><b>4) 洗浄弁をタオルで拭く</b></p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>①-1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>②-2</p> </div> </div>
<p>①洗浄弁とその他の金属部分は、タオルで水拭きし、乾いたタオルで拭きする。</p>	
<p><b>5) 床をデッキブラシで洗浄する</b></p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>②-1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>②-2</p> </div> </div>
<p>①床をデッキブラシで洗浄する。</p>	
<p>②フロアスクイジーで排水口に水を集める。</p>	
<p>③モップで水拭きする。できる限り水分を残さないようにする。</p>	
<p><b>6) 備品を元にもどす</b></p>	
<p>①移動した備品などを元の位置にもどす。</p>	

注意事項

- ・児童の衛生上の配慮が必要となり、保護手袋の着用が望ましいが、使い方によってはかえって不衛生になるため、ここでは着用しない方法を採用した。
- ・かなりの時間と労力が必要となるため、正しい知識と手順で効率的な作業が必要。
- ・汚染拡大防止のため、タオルを色分けする。(例)水拭き用……白 から拭き用……青 便器用……赤
- ・床を水で洗浄する場合は、トイレトパーパーを外しておく。



## 手洗い場 [4-7]

**スポンジ** (タワシ) 参考ページ/P18 **タオル** (白・水拭き、青・から拭き) 参考ページ/P19

 **ポイント** 常に衛生的に管理することが大切です。


### 【作業の手順】

<b>1) 手洗い場をスポンジで水拭きする</b>
① 備品等を邪魔にならない場所へ移動する。
② 洗い場をスポンジで洗浄する。
③ 鏡をタオルで水拭きし、乾いたタオルでから拭きする。



②-1                      ②-2

<b>2) 蛇口をタオルで水拭きする</b>
① 蛇口をタオルで水拭きした後、乾いたタオルでから拭きする。



①

**注意事項**

- ・使用頻度が高く、汚れも甚だしいため衛生的に管理することが大切。
- ・不快害虫の棲息場所とならないように、常に清潔に保つこと。



## 体育館 [4-8]

**自在ぼうき** 参考ページ/P12 **乾式モップ** 参考ページ/P13 **片手ちりとり** 参考ページ/P15 **モップ** 参考ページ/P19

 **ポイント** 床の材質を考慮した資機材を選びましょう。

### 【作業の手順】

<b>1) 床をモップで掃く</b>
① 床の土砂やホコリを乾式モップで除塵する。
② 集めたゴミをほうきとちり取りで取る。
③ 汚れたところは、モップで水拭きする。




①                              ②

**注意事項**

- ・フローリング床であるため、水や洗剤などの水分の影響により、床のそりやふくれが発生しやすい材質であることから、できるだけ乾式モップを使用する。

## 校庭 [4-9]

**竹ぼうき・くま手・箕** 参考ページ/P13 **三つ手ちり取り** 参考ページ/P15

 **ポイント** 外と接触するため安全に気を付けることが大切です。

### 【作業の手順】

<b>1) 校庭をほうきで掃く</b>
① ゴミや落ち葉を掃く。
② ところどころにゴミを集めて、三つ手ちり取りで取る。
③ 地面が土の場合は、専用のくま手で掻き、箕(み)で取る。




①                              ②

**注意事項**



- ・外の作業となるため、車との接触など安全に気を付ける。
- ・遊具やバックネットなどへの衝突事故、また花壇や庭を踏まないように気を付ける。

自在ぼうき 参考ページ/P12 片手ちりとり 参考ページ/P15 フロアスクイジー 参考ページ/P16  
 樹脂ワックス 参考ページ/P17 ポリッシャー・パッド・ハンドパッド (コーナー用) 参考ページ/P17  
 モップ 参考ページ/P19 バケツ 参考ページ/P20 業務用弱アルカリ洗剤 参考ページ/P22

 **ポイント** 転倒事故が起こるため、立入禁止にすることが大切です。

## 【床を洗浄し、樹脂ワックスを塗布する作業の手順】

<p><b>1) 移動可能な机、什器を移動する</b></p>		
<p>① 洗浄する場所においてある物を可能なかぎり他の場所へ移動する。</p>	<p>①-1</p>	<p>①-2</p>
<p>② 椅子や小さなものは机の上、または移動が不可能な什器の上に上げる。</p>		
<p><b>2) 床をほうきで掃く</b></p>		
<p>① 洗浄の前に、床のゴミをほうきなどで掃き、ちり取りで取る。</p>	<p>①</p>	
<p><b>3) 床をポリッシャーなどで洗浄する</b></p>		
<p>① 洗剤が幅木・壁面・什器備品などに付着しないように注意し、モップで洗剤をむらなく塗布する。</p>	<p>①</p>	
<p>② 洗剤が乾かないうちに床磨き機 (ポリッシャー) で洗浄する。タンク付ポリッシャーで洗剤を流下させながら洗浄する方法もある。</p>		
<p>③ フロアスクイジーで洗剤分を集め、ちり取りで取る。汚水取り (参考ページ/P16) がある場合はそれをを用いる。効率を上げるためにウェットバキュームを使用する場合もある。</p>	<p>②</p>	
<p>④ 洗剤が幅木などに飛散した場合は直ちにタオルで拭き取る。</p>		
<p>⑤ 絞ったモップで拭く。この時床に洗剤分が残らないようにこの作業を数回繰り返す。</p>		
<p>⑤ 水拭きを終えた後、十分乾燥させる。送風機があれば使用する。</p>	<p>③</p>	
	<p>⑤</p>	

<b>4) モップで床維持剤を塗布する</b>		
①専用モップの房糸の根元に横一文字に樹脂ワックスをしみこませる。	①	②
②格子塗りで樹脂ワックスを塗布する。		
③1回目に塗布した樹脂ワックスを完全に乾かしてからもう一度塗布する。		
④塗り終わったら塗膜を十分乾燥させる。		
<b>5) 机・什器等を元にもどす</b>		
①移動した机等を元の位置にもどす。		

**注意事項**

- ・床の洗浄作業は、非常に滑りやすいため、滑りにくい靴を履くか、滑り止めカバーを靴に着用する。
- ・通行する人を転倒させないように「清掃中」などの立て看板(参考ページ/P16)を表示する。
- ・化学物質に過敏な作業員・児童がいる場合、床維持剤を塗布した日は立ち入りを制限する。
- ・洗剤・樹脂ワックス等の使用については、缶に表示された使用方法を守って使用する。



滑りにくい靴



滑り止めカバー

## 【その他の手入れ】




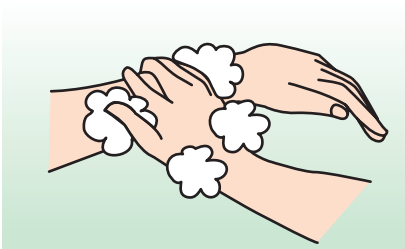

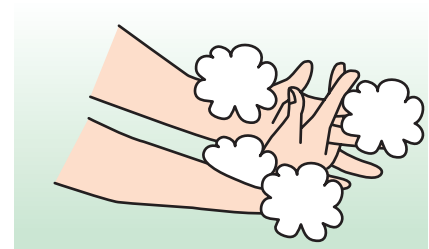
<b>1) 階段のノンスリップを磨く</b>	①専用の金属磨き剤を用いて磨く。
<b>2) 壁まわりの清掃</b>	①静電気を利用した除塵器具(参考ページ/P14)を用いて除塵する。
<b>3) 窓まわりの清掃</b>	①半乾きまたはかたく絞ったタオルで拭く。
<b>4) 靴箱の清掃</b>	①かたく絞ったタオルで拭く。 ②定期的に、靴箱の中の土砂を取り除く。
<b>5) 排水溝(口)を清掃する</b>	①毛髪等の異物が原因となって詰まることがあるので、ふたをはずして異物を取り除く。

# 5

## 清掃のあとに

清掃をすると手に汚れが付きます。また、ほこりをたてない清掃を心がけたとしても、どうしてもほこりが舞い上がります。特別な手洗いやうがいは必要ありませんが、児童が外から帰ってきた後に行うのと同じ理由で、手洗いやうがいを行うようにしましょう。

### 【手洗い】

<p>1) 両手の平をよくこすります</p> 	<p>2) 手の平をこすり洗います</p> 	<p>3) 次に指先を入念にこすります</p> 
<p>4) 手首も忘れずに洗います</p> 	<p>5) 親指を手の平でねじ洗います</p> 	<p>6) 指の間を十分に洗います</p> 

### 【うがい】

 <p>① 水道水をコップに注ぎます。手で行う場合は、手洗いをします。</p>	 <p>② 口に水を含み、少し強めに「もぐもぐ」と口の中をゆすいで吐き出します。</p>
 <p>③ 口に含んで上を向き、5秒以上のどの奥まで「ガラガラ」とうがいをして吐き出します。</p>	 <p>④ もういちど5秒以上「ガラガラ」とうがいをします。</p>

## 生徒指導用スライド

# 「清掃をマスターして学校をピカピカに！」 ダウンロードのご案内

生徒指導用パワーポイントスライド(Microsoft PowerPoint) (PDFファイル版もあります)について、  
以下のホームページアドレスよりダウンロードすることができます。是非、ご活用ください。

※内容は、左ページからのサンプルをご覧ください。

<http://www.kids-bma.jp/manual/> 又は

サーチエンジンより「全国ビルメンテナンス協会」と入力して、  
当協会ホームページにアクセスいただきますと、「小学校清掃指導マニュアル」の  
バナーボタンがございます。こちらからもアクセス可能です。

※小学校清掃指導マニュアル本体(PDFファイル版)のダウンロードについても、  
上記ページより行うことができます。

生徒指導用スライド「清掃をマスターして学校をピカピカに!」は、Microsoft社のプレゼンテーションソフト「PowerPoint2003」  
で作成しており、「Windows版PowerPoint XP/2003/2007」にて動作を確認しております。  
なお、本ソフトがない場合は、ダウンロードページにて、無料で閲覧利用ができる「PowerPoint Viewer」「Adobe Reader」  
のリンクをしておりますので、そちらを活用ください。  
Adobe Readerは Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。Windowsおよび PowerPoint  
は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。



せいそう がっこう  
**清掃をマスターして学校をピカピカに！**



社団法人全国ビルメンテナンス協会



**清掃をマスターして学校をピカピカに！**

もくじ

1. なぜ清掃をするのかな？
2. 清掃用具の使い方をマスターしよう！  
 ★ほうきの使い方  
 ★モップの使い方  
 ★タオルの使い方
3. 学校をきれいにして！  
 ★教室 ★廊下 ★階段 ★玄関・昇降口  
 ★トイレ ★手洗い場 ★体育館 ★校庭
4. 学校を大切に！
5. 清掃用具を片付けよう！
6. 最後にみんなもきれいにね！



**なぜ清掃をするのかな？**



ホコリやゴミで汚れている教室だと、ちゃんと勉強できないわ。



**なぜ清掃をするのかな？**



きれいな教室だと、元気に気持ちよく勉強ができるんだよ。



**清掃用具の使い方をマスターしよう！**

ぼくの名前は「そら」。これからぼくが、ピカタンと、正しい清掃を教えるよ！



はじめまして！ぼくはピルのようせい「ピカタン」。みんなでなかよく、清掃をやってみよう！

ほうきの使い方 一名前ー



ほうきは、いろいろな種類があって、名前があるんだよ。これは、自在(じざい)ほうき。



ほうきの使い方 ー持ち方ー



片方の手を柄の先に、もう片方の手をおへその位置で持とう。



ほうきの使い方 ーはき方ー



足を楽に開いて、下の手が伸びるところでほうきを床におく。

横に動かし、上の手の足元で止める。

これをつづけて、前に進む。

ほうきの悪い使い方



こんな使い方をしていたら、どうなるかな？考えてみて。



モップの使い方 一名前ー



モップにも、いろいろな種類があるんだよ。これは、ワンタッチモップ。



モップの使い方 ー持ち方ー



片方の手を柄の先に、もう片方の手をおへその位置で持とう。



**BMA** 清掃用具の使い方をマスターしよう！

モップの使い方 -ふき方-



足を楽に開いて、下の手が伸びるところでモップを止める。モップのふき糸が外向きになるように床におく。

横に動かし、上の手の足元で止める。後ろに下がりがりながら横一直線にふく。

4～5回往復したら、ふき糸をくるっとまわし、反対側の面を使う。

12

**BMA** 清掃用具の使い方をマスターしよう！

モップの悪い使い方



こんな使い方をしていたら、どうなるかな？考えてみて。

13

**BMA** 清掃用具の使い方をマスターしよう！

タオルの使い方 -名前-



2010/9/17

14

**BMA** 清掃用具の使い方をマスターしよう！

タオルの使い方 -洗い方としぼり方-



タオルをぼうの形にして、縦に並べた手のひらにのせる。

ぎゅっつつかんで、両手の親指が内側になるようにひねる。

手がまわらなくなったところで止める。水がたれなくなるまで2～3回くりかえす。

2010/9/17

15

**BMA** 清掃用具の使い方をマスターしよう！

タオルの使い方 -折り方①-



かたくしぼったタオルを大きく広げる。

上の両端をあわせる。

大きさが半分になる。【2つ折り】

上の両端をあわせる。

2010/9/17

16

**BMA** 清掃用具の使い方をマスターしよう！

タオルの使い方 -折り方②-



大きさが4分の1になる。【4つ折り】

上の両端をあわせる。大きさが8分の1になる。【8つ折り】

折り目を上にして、あわせ目は縦指でおさえて完成。

2010/9/17

17

**BMA** 清掃用具の使い方をマスターしよう！

タオルの使い方 -ふき方-



ふき残しが  
ないようにね！

片手で机をおさえ、隅々までいねいにふく。

18

**BMA** 清掃用具の使い方をマスターしよう！

タオルの悪い使い方



こんな使い方をして  
いたら、どうなるか  
な？考えてみて。

19

**BMA** 教室をきれいにしよう！

準備をしよう



必要な清掃用  
具をそろえて、  
窓をあけよう。

20

**BMA** 教室をきれいにしよう！

机を後ろにさげる



机の上にイスをあげる。



教室の後ろに机をさげる。  
運ぶときは、持ち上げること。

21

**BMA** 教室をきれいにしよう！

前の床をはく



机を後ろに下げたら、ほうきで隅から中央にゴミを集める。

22

**BMA** 教室をきれいにしよう！

ゴミを取る



しずかに  
入れよう。

ゴミを一箇所に集めて、  
2人1組になり、ほうきで、  
ゴミをちり取りに入れる。



ほうきの3分の2をちり取  
りに入れながら、ちり取り  
にゴミをいれる。

23



## 教室をきれいにしよう！

### 汚いところをふく

きれいなモップを使ってね。



ほうきで取れない汚れは、水で濡らせたモップでふく。

24



## 教室をきれいにしよう！

### 机を前に運ぶ

机は持ち上げて運ぼう！



教室の半分(前)がきれいになったら、机を前に運ぶ。

25



## 教室をきれいにしよう！

### 机をもとにもどす



教室の半分(後)もきれいになったら、机をもとにもどす。

26



## 教室をきれいにしよう！

### 机をふく



机の隅々までていねいにふこうね。



かたくしぼったタオルで、机をふく。

27



## 廊下をきれいにしよう！

### 準備をしよう



必要な清掃用具をそろえよう。

28



## 廊下をきれいにしよう！

### 床をかく



ほうきで隅から中央にゴミを集めよう。



隅のゴミやホコリを外に出す。



ほうきで隅から中央にゴミを集める。

29

ゴミを取る



しずかに入れてよう。



ゴミを1カ所に集めて、2人1組になり、ほうきで、ゴミをちり取りに入れる。



汚いところをふく



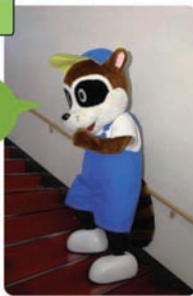
上の写真は悪い例だよ。どうなるかな？考えてみて。

ほうきでとれない汚れは、水で濡らせたモップでふく。



準備をしよう

必要な清掃用具をそろえよう。



床をはく位置

転ばないように気をつけよう！



足は、はく段の一つ下の段に片方の足を、さらにもう一つの段に、もう片方の足をおくこと。両足が同じ段にならないようにする。

はく悪い位置

写真は悪い例だよ。どうなるかな？考えてみて。



床をはく



段ごとに、隅から中央にゴミを集める。

中央のゴミを下の段に落とす。上の段から1段ごとにはく。



ほうきを壁にぶつけないようにね。



### 階段をきれいにしよう！

#### ゴミを取る



しずかに入  
れよう。



おどり場

おどり場で、ゴミを1カ所にあつめて、2人1組になり、ほうきで、ゴミをちり取りに入れる。

30



### 階段をきれいにしよう！

#### 汚いところをふく



ほうきと同じよう  
に立って、階段  
の上から下にふ  
いていこう。



ほうきでとれない汚れは、水で湿らせたモップでふく。

31



### 階段をきれいにしよう！

#### 手すりをふく



手すりをタオルでくるんでふく。

下から上に  
ふいた方が  
乾かないよ。



32



### 階段をきれいにしよう！

#### きけん！



こんなことをし  
ていたら、どう  
なるかな？考  
えてみて。



33



### 玄関・昇降口をきれいにしよう！

#### 準備をしよう



必要な清  
掃用具を  
そろえよう。

40



### 玄関・昇降口をきれいにしよう！

#### 床をばく



土足のところはシダほうきではく。



上履きのところは自在ほうきではく。



隅から中央にむ  
かってはこう！

41



### 玄関・昇降口をきれいにしよう！

#### ゴミを取る



ゴミを1カ所に集めて、2人1組になり、ほうきで、ゴミをちり取りに入れる。



土足のところと、上履きのところは、べつべつにゴミを取らうね。



### 玄関・昇降口をきれいにしよう！

#### 汚いところをふく

上履きのところと、土足のところは、別のモップを使うこと。



ほうきで取れない汚れは、水で濡らせたモップでふく。



### トイレをきれいにしよう！

#### 準備をしよう

必要な清掃用具をそろえよう。



44



### トイレをきれいにしよう！

#### 洗面台をふく

きれいなタオルを使おうね。便器をふくタオルは使わないように。



水で濡らせたスポンジでこする。かわいいタオルでふく。



45



### トイレをきれいにしよう！

#### 鏡をふく

隅々まできれいにふこう。



水で濡らせたタオルでふく。



かわいいタオルでふく。

46



### トイレをきれいにしよう！

#### 便器を洗う

便器は、内側までしっかりがこう。タオルは便器専用のものを使うこと！



トイレ用ブラシでこする。



水で濡らせたタオルでふく。

47





### トイレをきれいにしよう！

#### 洗浄弁をふく



水で湿らせたタオルでふく。



かわいたタオルでふく。



サビが出るから、かわいたタオルでちゃんと水をふこう。

10



### トイレをきれいにしよう！

#### 床をばく

壁面や洗面台の隅からトイレの中央にゴミを集めよう。



ほうきで隅から中央に向かってはく。



11



### トイレをきれいにしよう！

#### 床を洗う

水をまくまえに、トイレペーパーは折しておこう。モップの持ち方と同じだよ。



ホースかじょうろで水をまき、デッキブラシでこする。



12



### トイレをきれいにしよう！

#### 床を洗う

フロアスクイジーで取れない水は、モップでふこう。



フロアスクイジーを手前に引いて、水を排水口に入れる。



13



### 手洗い場をきれいにしよう！

#### 準備をしよう



必要な清掃用具をそろえよう。

14



### 手洗い場をきれいにしよう！

#### 手洗い場をみがき、蛇口をふく



水で湿らせたスポンジでこする。



水で湿らせたタオルで蛇口やまわりをふく。



鏡があつたら、ふいておこう。

15



## 体育館をきれいにしよう！

### 準備をしよう

必要な清掃用具をそろえよう。



54



## 体育館をきれいにしよう！

### 床をふく



体育館専用のモップでゴミを集める。



2人1組になり、ほうきで、ゴミをちり取りに入れる。

体育館は広いから、みんなで場所を決めてがんばろう！



55



## 校庭をきれいにしよう！

### 準備をしよう

必要な清掃用具をそろえよう。



56



## 校庭をきれいにしよう！

### 地面をはく

校庭は広いから、みんなで場所を決めてがんばろう！



竹ぼうきでゴミを集める。



2人1組になり、竹ぼうきで、ゴミをちり取りに入れる。

57



## 学校を大切に！

こんなことをしているのかな？

みんながいつも使っている場所の清掃方法がわかったかな？

あれれ？机に残書きをしているよ。

かきかき...



58



## 学校を大切に！

こんなことをしているのかな？

あ！こんどはゴミをちらかしている！みんなの清掃も大変になるし、教室は大切に使わないといけないね。



59

**BMA** 清掃用具を片付けよう！

**ほうきの手入れ**

ほうきにホコリがたまると、ゴミが取れにくくなるよ。毛がきで上から下にブラッシングしてゴミを取ろう。



毛がきでほうきのホコリやゴミを取る。

80

**BMA** 清掃用具を片付けよう！

**モップの手入れ**



シンクに水をためて、モップを洗う。



ふさ糸を幾つかに分けて、手でかたくしぼる。



手でふさ糸をほぐす。



ふさ糸を上にかわす。

81

**BMA** 清掃用具を片付けよう！

**タオルの手入れ**



バケツにきれいな水をためてタオルを洗い、かたくしぼる。



タオルに水が残らないように、かたくしぼろう。



タオルを広げてよくかわす。

2010年17

82

**BMA** 清掃用具を片付けよう！

**清掃用具をしまふ**



清掃用具の手入れが終わったら、清掃用具入れにきれいしまおう。ぐちゃぐちゃにしまおうと、こわれてしまうよ。

83



### 最後にみんなもきれいにね！

#### 手洗い・うがいをする

教室がきれいになったら、最後に自分をきれいにしよう！



74



### 最後にみんなもきれいにね！

#### 手洗い

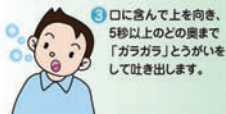


75



### 最後にみんなもきれいにね！

#### うがい



76



### みんなで力をあわせてがんばろう

みんなの教室もきれいにしよう！



77

## ■ 小学校清掃マニュアル作成WG

座長 村田 茂行

委員 大島 常朗

委員 多田 英人

委員 藤田 忠久

協力 坂下 祥一

## ■ 撮影協力

荒川区立ひぐらし小学校

## ■ 出演者

阿部 恵吾さん

犬伏 なおみさん

近野 功希さん

橋本 夏果さん

## ■ 協賛

日本学校薬剤師会

## ■ 協力

株式会社 テラモト

株式会社 リンレイ



## 小学校清掃指導マニュアル

平成24年9月1日 第1版第4刷

編集・発行 公益社団法人全国ビルメンテナンス協会

〒116-0013東京都荒川区西日暮里5-12-5ビルメンテナンス会館5F

TEL:03-3805-7560 FAX:03-3805-7561

<http://www.j-bma.or.jp>

# リンレイ製品で学校を **リンレイ** きれいにしよう!!



## スクールタフ

教室や廊下に塗るのに安全なワックスです。



## スクールジム

体育館に塗るのに最適なワックスです。



## カラーコート

まだらに剥がれた木床を復元するワックスです。



## R'S PRO ガラスクリーナー

ガラスを簡単にピカピカにする洗剤です。



## 水石鹸 グリーンeco

ヤシの実からつくられた、手肌にも環境にもやさしい石鹸です。



## R'S PRO アルコール除菌剤65

給食室などの除菌に安心な、食品添加物のできた除菌剤です。



## ゴージャー手指消毒用速乾性ジェル

皮膚を保護する成分が入った、手指消毒用ジェルです。



## R'S PRO 中性トイレクリーナー

安心して毎日使用できる中性タイプです。



## R'S PRO 酸性トイレクリーナー

頑固な汚れもスッキリ落とす酸性タイプです。



## RD-370N

図書室などでも使用できる、静音タイプの掃除機です。



## セーフティーポリッシャー

誰でも簡単に操作できる、安全なポリッシャーです。



株式会社 **リンレイ** 業務製品事業本部

〒104-0061 東京都中央区銀座4-10-13 TEL:03-3543-2281 / <http://www.rinrei.co.jp>

私たちテラモトは、笑顔あふれる教室づくりを応援します！

# 児童が使いやすい、短い柄のお掃除道具 を取り揃えました。



お掃除道具の使い方のワンポイントアドバイスシールつき。

柄が180°自在に曲って持ちやすい角度に調節できます。

自在ホーキ  
(パイプ柄)  
児童用

児童用



先だけ交換もできます。

通常のモップ糸から雑巾まで簡単に装着できるモップです。

シャークII  
モップ  
児童用

児童用



モップ糸から雑巾までセットできます。

ゴシゴシこすっても毛先がへたりにくく、汚れをしっかりと落とすブラシです。

デッキブラシ  
児童用

児童用



先だけ交換もできます。

水で濡れた床はこのドライヤーで水をかき集めます。

フリードライヤー  
児童用

児童用



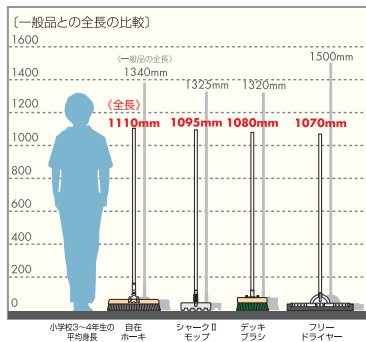
先だけ交換もできます。

※上記の製品にはスベア(シャークIIモップ 児童用は除く)があります。

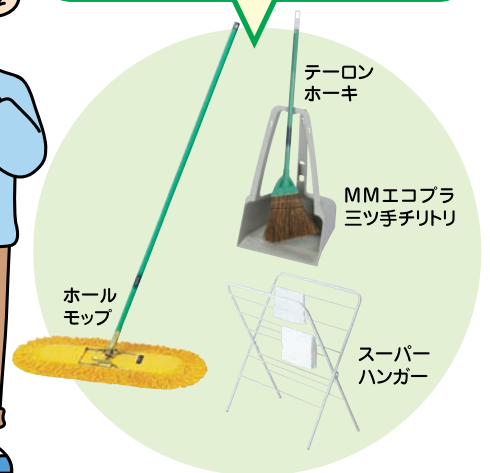
児童の平均身長を参考に柄を短くし無理なく取り扱えるようにいたしました。

一般的なホーキやモップは、大人が使用することを想定して作られているため、児童のみなさんにとっては柄が長く、使いにくいもの。児童様に柄を短くしたこの清掃用品なら、加えた力がヘッドに伝わりやすく、清掃効率が上がります！

児童用



さらにあると便利なアイテム！



清掃用品の他、マット・スノコ・ベンチなどの商品情報満載！小学校向け環境美化用品カタログ&お掃除道具の使い方ポスター差し上げます。

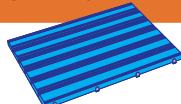


小学校向け環境美化用品カタログ

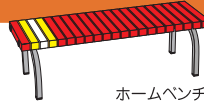
今すぐアクセス



学校で人気No.1ハイベアロンマット



抗菌安全スノコ



ホームベンチ



アルボナース(手指消毒液)

お掃除道具の使い方から歴史まで、学校をキレイにするお役立ち情報満載！

<http://www.teramoto.co.jp/school/>

TERAMOTO 株式会社 テラモト

本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀3-5-29 TEL (06)6541-3333 FAX (06)6531-2323  
 東京本社 〒272-0142 千葉県市川市欠真間1-8-23 TEL (047)358-1151 FAX (047)358-7658  
 名古屋支店 TEL (052)324-8331 FAX (052)324-8335 横浜営業所 TEL (045)958-1370 FAX (045)958-1371  
 札幌営業所 TEL (011)862-5901 FAX (011)862-1944 広島営業所 TEL (082)239-1551 FAX (082)239-1552  
 仙台営業所 TEL (022)236-9395 FAX (022)236-8190 福岡営業所 TEL (092)433-7515 FAX (092)433-7565  
 埼玉営業所 TEL (048)669-3115 FAX (048)669-3118

八尾工場 [ISO14001認証取得工場] [ISO9001認証取得工場] 成田工場 姫路工場

# ビルメンテナンスというお仕事

			
<p><b>ピカタン</b></p> <p>当協会のマスコットキャラクターで、愛称はピカタンです。当協会では清掃員をクリーンクルーと呼んでいます。</p>	<p><b>ゆかのせいそう</b></p> <p>トイレや階段、部屋などビル全体の床や壁、備品のホコリや汚れを清掃し、ビルを清潔にします。</p>	<p><b>せつびのかんり</b></p> <p>空調や電気など機器の運転や監視を行い、ビルの各設備を稼働させています。</p>	<p><b>けいび</b></p> <p>犯罪や火災の監視をし、ビルの安全を守ります。</p>
			
<p><b>すいじつのけんさ</b></p> <p>飲料水やトイレの水など、ビルに使用されている水を検査し、健康を守ります。</p>	<p><b>がらすのせいそう</b></p> <p>ビルの外側の窓ガラスを清掃し、ビルをきれいにします。</p>	<p><b>がいちゅうのくじょ</b></p> <p>ゴキブリやねずみなどの生息状況を調査して、駆除を行い、ビルの快適で清潔な環境をつくれます。</p>	<p><b>うえきのみずやり</b></p> <p>観葉植物や植木の水やりを行い、ビルの快適な環境をつくれます。</p>